新京日日新聞
夕刊
十二月廿日(火)

ソ聯國營穀類輸出部 北滿特産物の大々的買付に着手す

【ハルビン二十日發國通】ソ聯國營穀類輸出部ハルビン出張所長ヴァルコフ氏はクリミヤ半島で暫く靜養中であつたが北滿特産物の出廻りも愈よ最大殷盛期に入らんとしつつあるのでハルビンに歸來したがヴァルコフ氏は歸任と同時に約二十萬の麻袋買込みの手筈をなし北滿特産物の大々的買付に着手することとなつたが右特産物は從來の本國への輸送方法を急角度に變更して本年はトラクターによつて滿ソ東部國境の密山縣より沿海州に種々輸送する方針である

前韓江省々長 再起か

【チチハル二十日發國通】前黒龍江省々長韓雲階氏は退職後郷里金州に在りて只管謹愼の意を表し過去の走馬燈の如き轉變常なき事態を追憶してゐたが例の勃々たる政治的勇躍心は彼を驅つて再び滿洲國の政治舞臺に乘込ますべき機會を與へたるものゝ如く舊腹臣たる日滿要人と諮り中央其他各方面の諒解を求むる運動を開始し略々その目的を達成すべき時機が訪れたかの如く金州に在る韓雲階氏に一抹の春風が漂つて來た之が爲め最近ソ滿關係の日に重大性を加へつつある今日彼をしてハルビン特別區長官に任ずるとの噂が頻々として傳はり或は近く赴日し日本首腦部に自己の所懐を開陳し再び起つて目的遂行の爲め努力するとの旨はれてゐるので各方面よりは多大の注目の的となつてゐる

ソ聯國交回復と共に 官民合同の一大商事公司設立 國府實業部の計畫

【天津廿日發國通】天津商務總會常務委員王文典氏は中ソ貿易局の設立を計畫し最近南京に赴き實業部長陳公博氏に組織方法その他に就て指示を仰ぐ所あつたが、之に對し陳部長は政府當局は中ソ國交回復と共に大々的に商事公司設立の意向がある故、時期を待つべしとの回答を與へた右商事會社は官民合同のものらしく上海に設立するや天津に設立するやは未定であるが、露支復交説の宣傳される今日その成行きは注目されてゐる

河北省の鑛稅徵收統一

【天津二十日發國通】河北省の鑛稅徵收は從來東區、西南區、北區の三鑛稅局で行つてゐたが冀晉察綏區統稅局では今回中央の命に依り該三鑛稅局を接收して新たに鑛稅徵收分處を十五ケ所設立、今月より鑛稅徵收に當らしめてゐる

新安鎭の鮮人經營 水田大成功

【ハルビン二十日發國通】新安鎭の朝鮮人民會は今夏五月大水田を開くため滿人有力者六名より千六百圓を借りたが該元金の支拂期限が約二ケ月後に迫る今日果して期日までに元利支拂を爲し得るやと關係者は心配して居るが右水田は目下約千町歩に及び本年收穫は三萬石を豫想され内二萬石は來春耕作の種子食料に充て一萬石は當地で共同販賣して返還期日よりは多少遅れるも元利返還は確實となつたので滿人の對朝鮮人資金貸付は今後相當旺んになるものと觀らるるに至つた

無電の父來滿 奉天から大連へ 直ちに上海へ向ふ

無電の父マルコニー侯は來る廿五日午後十時五十分奉天着廿六日滿洲國側主催の午餐會に臨み同日鳩で赴連、廿六日晩滿洲電氣會社主催各有力會社聯合の晩餐會に招待され二十七日午前十一時出帆の大連汽船で上海に向ふ豫定である

杉村公使 臺灣を視察

【高雄十九日發國通】滿支視察旅行の歸途臺灣に立ち寄つた杉村公使は十九日午前十時高雄に上陸高雄神社に參拜した、同公使は來る廿四日離島の筈である

嘉納治五郎氏歸朝

【東京廿日發國通】マドリッドに開かれた萬國議會聯盟會議に日本代表として出席し、傍ら第十回オリムピック大會を日本に誘致すべく出かけた貴族院議員嘉納治五郎氏は廿日郵船箱崎丸で横濱着歸朝した

北安鎭の都市計畫 實地測量開始

【北安鎭廿日發國通】既報の如く北安鎭大都市計畫は徐々に其の歩を進めてゐたが十六日午後二時三十分着列車にて民政署より日本人技師二名、滿人十二名が來北し直ちに十七日より實地測量に着手してゐる

滿洲國を中心とする 日、滿、蘇の狀勢(下)

次に蘇聯の極東兵力の増加に就て述べるに

蘇聯は自己の畫いた幻想におびえて極度の恐怖心を懷き、極東に盛んに兵力を集中し、戰車、飛行機の輸送を續々繼續してゐる、現在ザバイカル以東には十數個師團の兵力を擁し飛行機、戰車數百臺に上つてゐる、事變前に比較すれば兵力量に於て二倍、戰車、飛行機の軍器に於て約六倍に達してゐる、尙國境方面即ち滿洲里方面、吉林省東部國境黒河、松花江、黒龍江合流點同江對岸に亘つては堅固なベトン製の永久的陣地を多數構築し、國境武裝を固めつつある、國境方面にあつてかかる情報を耳にし口にせる者はかかる情勢を見て、さも直ちに開戰に至るものと考へ、これを大げさに傳へたものと思はれるが、こうした善意惡意の諸情報が誤り昂つて開戰說の流布にまで立至つたものと思はれるのである、だがこうした流言蜚語は世界の情勢、日滿、蘇の全般的狀勢に暗い人々の妄想の生むものであつて健全な國民は爲めにする者、或は職業の資に供せんとする者の言に迷はされないことを信ずるものである

凡そ戰爭は輕率に始むべきでなく、國家の存亡隆殆を覺悟の上に行はるべき國家の大事たるは今更云ふ迄もないことである、帝國は爾來世界平和の維持をその國是となし、正義公道に則つて國際政策を闊歩するものであつて、徒らに好んで外國の領土に侵入する様なことは斷じて爲し得ざる所である、唯東洋全局の平和維持を帝國存立上の大義とする以上、東洋平和を攪亂し滿洲に於ける帝國の權益を侵害し同盟國たる滿洲國の治安を亂す者あるに於ては、その何國たるに關せず帝國はその使命に鑑み斷乎立つて之を排擊するを躊躇する者でない

以上概觀した如く滿洲國を中心とする日、滿、蘇の關係は多少の緊張を示してゐることは事實ではあるが、急迫尖銳化せるといふ狀態ではない況んや開戰說の如きはとんでもない妄想の所產と云はねばならぬ、だが然しながら滿洲國の北には蘇聯といふ國際信義の破壞者が赤旗を立てゝ南方を睥睨してゐるのであるから油斷は禁物である、吾々としては蘇聯が如何なる狂氣じみた冒險政策に出でようとも之に動ぜざるの覺悟を要す、況んや千九百三十五、三十六年は帝國外交の危機にして刻々にその時期は迫りつゝあるのである、我より好んで事を起す要なきは云ふまでもなき事ながら、我に恃みあるを頼めば何者をも恐れる必要は毛頭もないのである、故に之に應じ得る準備を完成しおく事が我國民現下の急務であると信ぜる

十一月中旬 十六港外國貿易

【東京廿日發國通】大藏省發表、十一月中旬十六港外國貿易概算左の如し(單位千圓)

項目	金額
輸出	五〇、四五六
輸入	五二、五五八
合計	一〇三、〇一四
入超	二、一〇二
一月以降累計 入超	三五、六一七

尙重要品輸出入額左の如し

品目	金額
△輸出	
綿糸	二五一
生糸	九、二四五
綿織物	九、五七一
絹織物	一、八九一
△輸入	
棉花	一五、二八〇

北鐵で從業員に 退職金を支拂ふ

【ハルビン廿日發國通】財政難の北鐵は退職者に對する恩給その他退職金の支拂問題を中心として退職者との間に種々物議を醸して居たが愈よ來る十二月十五日同二十八日の兩日に亘り百二十萬金ルーブル(哈大洋二百五十萬元)の退職金の支拂を行ふこととなつたので退職者は寒さとクリスマスを目睫に控へて喜色を滿面に湛へて居る

商標手續代理人追加

商標手續代理人として二十日左の三名が追加許可された

商標手續代理許可人名
清瀬三郎　青木榮一
田崎治久

ペルシヤも ソ聯と不可侵條約を締結

【ハルビン廿日發國通】モスクワ來電によればペルシヤ國はポーランド、ルーマニア、アフガニスタンに倣つてソ聯國との不可侵條約を締結しこれに調印した

北鐵路警處で 共產分子の逮捕に奔走

【ハルビン二十日發國通】北鐵路警處は北鐵內部にあつて赤化宣傳、秘密集會等の積極的カンパニアを行ふ共產分子に對し斷へず徹底的彈壓を加へつつあり、曩に五人組細胞を四組檢擧したが又復この程某重大犯のソ聯國籍露人十四名を逮捕し目下嚴重取調べ中である

日滿悲曲 生命線を行く

(上演上映)
國友雄吉
(荒川芳三郎 畫)

(二十二)

未亡人の姿

周作氏の葬儀は、九月半ばの快晴の日、いと盛んに行はれた。都下の各新聞紙は、爭つてその死を報道し、且つ惜んだ。その柩は、實業界知名の人々や、各團體から贈られた哀悼の花環によつて埋づめられた。

伸一は、今更のやうに、父の偉大さと、成功とを偲ばずに居られなかつた。

葬儀の畢るまで、家族の人々の上には只だ葬路を辿つてゐるやうな、荒然たる喪夜が幾日か訪れた。そしていよいよ、葬儀が片づいてしまふと、漸く悲しみの後の疲勞が襲つて來た。

ある日。千瀬子夫人は、まだ涙の乾かぬ、悩ましの身を、牧原巧一郎の宅に運んだ。

座敷に通された夫人の姿には、未亡人としての、痛々しい窶れが見えた。

夫人は先づ、牧原氏の夫人安子から、あらためて悔やみを述べられ、新らしい涙に、袖を濡らせられた。

つゞいて、主人の牧原氏と會つた。

その座敷は、十疊の閑雅な日本室で、風致の豐かな庭園に面してゐた。

「二人は、この座敷で、よく碁を囲んだものですよ。その氏家さんは、たうとう先へ行つてしまはれた。いまは、なにもかも思ひ出の種です。萬事夢ですなあ」

牧原氏は、貫禄のある政治家らしい面に、憮然たる色を浮べながら述懐した。彼はもう五十絡みの何處か、野心家に見える男であつた。

その牧原氏の述懐が、またしても、千瀬子夫人の涙を誘つたのであつた。

「今日うかゞひましたのは、外でもありませんが――」

「失禮ですが奥さん、御遺言とおつしやるのは、氏家さんの御遺言のことでありませんか?」と、反つて牧原氏の方から切り出した。

「えゝ、そのことなのでございますの、主人が亡くなりましてから、まだ日數もたちません中から、もう、こんなことをお訪ねにあがるなんて、まことに、心苦しいのですけれど――」

主人が牧原氏に後事を託したといふのは、只、口頭で頼んであるだけか。それとも、チャント書いた物などが出來てゐて、動きの取れないやうな手續きになつてゐるのか、その邊の事を知りたいために、やつて來たのではあるが、夫人はさすがに、きまりが惡くつてあからさまには訊けなかつた。

「いえいえ決して、御遠慮には及びませんよ。實はね、もう兩三日も經過したら、一度手前の方からお話しに伺はうかと、思つてゐた處なのです――先日伸一君にお目にかゝつた節、同君のおはなしで氏家さんが御臨終の際、なにか御遺言があつたやうに承はりましたが――」

「伸一が、もう、そんなことを申上げましたか――」と、夫人は、ちよつと不快な色を見せた。そして、更に言つた。

「お察しの通りそのことに就いてでございますの――相續のことに就いて、牧原さんに、萬事お頼みをして置いたから、と申しましたので――」

「さうです、丁度今から、二十日ばかり前でしたね、私と、それから例の星澤君ですな、あの人と二人で、お目にかゝつた節、いろいろ相續問題に就いて、氏家さんから、打ち明けたお話しがありまして、その結果、伸一君を相續人と定めることに就ての、すべての手續きを私がお引受けするし、星澤君の方は、幸ひ商用で、滿洲へ出かけるので、その序に滿洲里へ行つて、伸一君をお迎へして來るといふことに、役割が、きまつたやうなわけでして――」と、牧原氏は、露骨に打ち明けてしまつた。

「まあ、星澤さんが、伸一を迎へに――左樣でございましたか」

夫人は驚いた。伸一の突然歸つて來た事情が、それで初めて明かになつた。

日日案内
三行 一回金五十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
被曝度 一回金三十錢
姓名在社 一回金十錢増
御申込みは電話三三〇〇番

下宿 問合せは滿日道 電話三八〇二番へ

貸室 八疊あり 姓名在社

貸家(新築)
場所 朝日通領事館警察署前
二階八疊二間六疊一間 階下店舖外三疊地下室
詳細東二條通廿二 横濱屋 電話四七七四 稻葉

金融 日掛 月掛 信用 勤人歡迎
吉野町三丁目八(長春座前) マキノ 電二七二五

貸室豫約受附
場所附屬地梅ケ枝町三丁目大新館ビルディング、スチーム、寢台其他洋家具、共同應接室食堂、風呂附、二階五、六、八、十疊 契約未滿五六室アリ
新館ビル假事務所 電四九〇六番

御履物 吉野町 とらや履物店 電二九八一番

賣買貸借
家の賣り申込並に金融直接御申込急迅速秘密に應ず
新京朝日通十七 鮮洋行 電四八二八 三一九一番

金銀 高價買入 東二條通り廿五 横濱屋質店

眼鏡の御用は金華堂へ 吉野町二丁目 電話二六四五

支部長 誰も出來各地方とも大歡迎 月收多大ある商品簡易有望業務 退職者及外地に自信の方申込次第詳細會報す 東京市目黒十四 國民教育奨勵會

滿洲國政府公報 雜誌販賣開始
大阪東京朝日新聞 朝日社
栃尾新聞舖 東二條通廿一 電二三四二番

貴重品安全保管 貯金勉強 質
三笠町三ノ二七(東三條通筋) 第七博多屋

陶磁器界の王
本日より堂々賣出し開催
陶工柿衛門燒を始め一萬余種網羅(見切品澤山)
窯元より直接皆様御家庭へ!
國產有田燒宣傳窯元出張
賣出場所 新京吉野町一丁目消防隊裏(東洋軒前入)
佐賀縣有田 玄 館林本店
好機逸せず御買上の程を

純お江戸料理 食道樂 花本
永樂町二丁目二番地 電話常盤座呼出二五六七番

宴會の勉强
川魚料理 鰻料理 ウナギ カバヤキ ウナタマ丼
スッポン料理 水炊 スキヤキ
博多鍋料理 鯛茶
物に定味なし 口に適して甘し…… 當店獨特の調理方
食道樂 とゞろき 新京朝日通日本橋畔 電三三九三六 二三七二番

御料參上
廣告マッチ カレンダー 團扇 扇子 進物用品
新京 出田吟味堂 東二條通
鑑印章 マッチレッテル
各種印章附屬品 迅速 叮嚀
吟味堂印章部 東二條通二三

診療(自午前九時至午後五時) 日曜祭日午前中
皮膚、泌尿科 外科、性病科
同仁醫院 富士町二 電話二六〇六番

滿洲丸 雄基・清津出帆 毎六・十六・二六日(月三回)
天草丸 雄基・清津出帆 毎一・一一・二一日(月三回)
北日本汽船株式會社 代理店 北鮮運輸

寒さ凌ぎに
鴨すきを始めました!
外に鍋物一式 會席及お好みに應じ 一品料理
長春座裏通
食道樂 だるま壽司 電話三八五〇番

お茶
世帶道具、陶器類色々
三笠町二丁目 河久商店 電話三三〇四番

福建の獨立大波紋

福建獨立運動に南京政府大狼狽

汪兆銘上海で奔走

〔上海廿日發國通〕福建省獨立運動に對し南京政府は最初之を輕視してゐたが、その後の行動は情勢の急を告げる「一方」なので南京政府も漸く狼狽し始め、十七日汪兆銘氏は部下の要人を帶同して南京より上海に來たが福建獨立運動に對する對策が主要なる要務で、十八日は孫科同道で該獨立運動と密接の關係ありと傳へられる第三黨の實權者孫文の未亡人宋慶齡を訪問して頻りにその自重を促したといはれてゐる、汪兆銘は十九日午前南京に歸り、香港より最近歸來した李福林と本問題に關し種々協議を續けた、又某側近者の談に依れば「中央政府は既に胡漢民、陳濟棠、陳銘樞、蔡廷楷、李濟深、馮玉祥等福建獨立運動に直接、間接に關係ありと目される元老並に實力者諸氏に對し、各別に國事多難の際國內の統一と平和を破壞するが如き態度を愼まれ度い旨の懇篤なる電報を發した、尚馮玉祥に對しては高職を與へて中央に招聘すべき申出をなし、又蔡廷楷に對しては特に蔣介石氏より南昌に來つて共に協議すべき事を要請した、以上の如く中央としては極力和平解決策を執りつゝあるが、信ずべき情報に依れば、既に李濟深の外陳友仁、徐謙諸氏等も「福洲」に來り同地には十九日來戒嚴令が布かれてゐる狀態なので果して中央の希望してゐるが如き和平解決が成功するか否かは一般より注目の的となつてゐる(寫眞は汪兆銘)

政府主席に李濟琛氏任命さる

〔上海廿日發國通〕今朝十時福州に於て擧行された福建民衆大會に於て獨立政府の政綱及び人選を左の通り決定した

人民政府主席 李濟琛

一、政治委員會主席 陳銘樞
二、軍事委員會主席 蔡廷楷
三、財政委員會主席 許崇清
四、教育委員會主席 章伯均
五、外交委員會主席 陳友仁

共産軍間に軍事協定締結

〔奉天廿日發國通〕當地に達した情報によれば福建省に於ける陳銘樞一派と第十九路軍は共産黨と政治的合作を協しつつありとの說あるもその根據は極めて怪しいものがあるが然し或る種の軍事協定が結ばれたことは事實である、尚陳銘樞氏は近く蔣介石反對宣言を發表し愈よ獨立運動に極積的に乘り出すべく策動しつつあるが、一方蔣介石氏はこれ等獨立軍の買收に躍起となつて居る

齒科專門 日本大學齒科醫學士 小島欽郎 小島醫院 南四條通り八 電話三一四六

我外務省靜觀せん

〔東京廿日發國通〕南京政府部內の不平分子と連絡し蔣介石打倒徹底抗日のスローガンを掲げた胡漢民、第三黨聯繫の福建省獨立政府樹立運動は最近に至り實現の形勢となつた、即ち二十日外務省に達した公電に依れば陳銘樞氏は二十日福建獨立政府の宣言を發表し且つ地方には民衆の大示威運動がある由で胡漢民、李濟深の兩氏は十八日朝廈門に到着したが右福建政府獨立運動の起つてゐる福建省と日清戰役後我國は不割讓條約あり同省は我台灣の對岸に在りその態度如何は直ちに影響あるに鑑み成行きを監視してゐるが廿日外務當局は左の如き當局談話をなした

外務省としては未だこの運動が如何なるものか、その目的方向に就ては明瞭ならざるもこの成行きは看過出來ない程重大であるが故、當局は今後靜觀の方針を執り善處せんとしてゐる

中政會の名で福建武力討伐通電

〔南京廿日發國通〕中央は廿日午後八時特に第三百八十次會議を開催、汪精衞、葉楚傖、顧孟餘、林森李石曾以下出席汪精衞主席の下に福建獨立問題に就て討議する處あつたが國步艱難掃匪緊張の折柄、斯る反動態度に出ずる事は民族意識を沒却し、國家を危くするものにして、中央政治委員會の名に於て左の如き武力討伐の通電を發した

國難發生以來全國一致團結以て危急を救はん事を期せり最近江西の掃匪着々勝利を得、肅清を期して俟つべく一切の建設將に開始されんとし復興の機この一髮に係る此時に當り陳銘樞等福州にありて所謂第三黨分子を糾合自立を名目として反亂を實行し、同時に共匪と結んで其の兇燄を援け謠言を造作、政府を誣ひ、以て視聽を困惑せんとす、若し其の倡亂に委かさば國民を毒し國家を危くするや必せり、茲に決議して各軍政機關をして速かに處置せしめ反亂を鎭壓して和平を來さんとす、我が同志將にこの變亂に當り各々協力これに當り以て人民の痛苦を解除し國家の根本を動搖せしめず、以て救國の大計を貫徹するを得せしめんことを切に望む

李、段兩氏が廣東派說得役

國民政府頻に努力

〔上海廿日發國通〕中央當局は福建の內情詳しき中央委員李擧英氏を派遣福建の實情を調査せしめ、又陳銘樞氏と私交篤き段錫明氏を派遣し陳銘樞氏を說得せしめることに決定した

我外務の意向

〔東京廿一日發國通〕外務省着電によれば胡漢民氏の福州入りは未だ確報無きも李濟琛陳友仁、黃琪翔等要人連は既に續々到着し、福建獨立政府樹立運動は進捗しつつあるが右に關し我外務當局は此運動の波動が相當重大なるものあるに鑑み二十日廣田外相、重光次官、桑島亞細亞局長等首腦部參集、事態の推移に善處するため對策を凝議した結果即日有吉公使其他關係機關に左の如き訓電を發した

帝國政府としては問題の福建獨立が成功しても支那の內政には依然として不干涉主義を持し事態の成行を監視する方針である、併し乍ら若し之に依つて帝國の權益並に居留民の保護が危殆に瀕する惧ある場合は斷乎として之を擁護する用意を有する

內蒙古に手足出ず

〔天津廿日發國通〕內政部長黃紹雄氏は內蒙自治政府樹立の要求に對し蒙古各王侯と會見極力之を慰撫中央の妥協案を承認せしむべく努力しつつあつたが、ほゞ妥協成り十九日百靈廟より綏遠に「歸來」した、內蒙三盟の自治政府樹立は結構なものでありその要求自治範圍は三盟の外察、綏、寧、特別旗を包含、且つ察綏兩省を廢しその省權を自治政府に委ねしめんとするもので、德王等はこの慰撫に對しても頑として應ぜず遂に黃氏は妥協案として

一、綏遠を特別第一區とし察哈爾を特別第二區とし未だ縣制を布かざる盟旗は縣制を設けず特別區の機關を設く
二、二年毎に兩區の連席會議或は蒙民の代表會議を一回開催す

この妥協條項を示した、右に對して蒙古王側は容易に妥協せず飽く迄原案を主張、黃氏は十七日遂に「決裂」のまゝ綏遠に引返さんとしたが十八日に至り漸く中央の妥協條件で解決を見、黃氏の綏遠歸來となつたものである、然し妥協案に依り中央は自治政府の樹立こそ認めたが殆んど內蒙に對しては手も足も出なくなつた譯である

汪蔣の提携

益々緊密となる

〔奉天廿日發國通〕宋子文氏の辭職に對し李石曾、吳稚暉、于右任氏等は宋子文氏に同情し又他方立法院內の胡漢民一派は一時汪政府反對の態度を示し形勢尖銳化しつつあつたが昨今稍緩和した模樣である一方蔣介石氏は汪精衞氏に對し益々緊密なる提携を約束し宋子文氏の辭職後は一層汪精衞氏支持の態度を明らかにして居る

米人飛行士

福州で拘禁さる

〔南京廿日發國通〕蔣介石氏の命により蔣氏乘用のフォッカー機を操縱南昌將蔡廷楷氏を南昌に迎ふべく福建に飛翔した米國人飛行士スミス氏は福建省の福州に於て拘禁せられた

張學良

マ首相を訪問

〔北平廿日發國通〕最近に於る學良の動靜は十月初旬ドイツ其他の大陸旅行を終へ英國に渡り、家族はブライトンに置き、自身はロンドン、マンチエスター・ホテルに假泊を常とし、之を根據にボーツマス其他を見物してゐる有樣で十一月十一日マクドナルド氏夫妻のチエツカースの午餐會に臨んだが之もマクドナルド氏の子息が曾つて一九一八年滿洲旅行の際學良の優遇を受けたお禮の意味の全然私的のものであつたと

在哈露人間にニコライ皇帝の銅像建立案起る

〔ハルピン廿日發國通〕北滿に於ける白系露人はニコライ皇帝の銅像をハルピンに建設すべく目下寄々協議中であるが穩健派一部の主唱者の意見として

一、他國の領土內にニコライ第二世皇帝の銅像を建設する事は如何
二、赤系露人の居る北滿に銅像を建設する事は兎角の問題を惹き起す機會が多くなりはせぬか

右に對し積極派の意見は

一、ソフキヤにもアレクサンダー第二世皇帝の銅像が建設された前例もある
二、依つて滿洲國官憲の諒解の下に白系露人所屬の土地又は寺院內或は白系露人の墓地に速かに銅像を建設すべし

と主張し本問題を中心として目下のところ議論は二派に分れてゐるが、引續き具體的に論議されてゐる

谷內〇〇隊

四百の匪賊を擊退

〔チチハル廿日發國通〕谷內〇〇隊は十八日正午、宇字井([illegible]西南二十粁)に於て約四百名の天照應匪を攻擊交戰一時間にして地字四井豐樂鎭東方二粁方面に潰走せしめたが直ちに之を急追し午後四時卅分張窩棚、豐樂鎭東方廿九粁の地點に於て敵を擊滅した尚この戰鬪に於て齋藤八百平上等兵、飯田竹松二等兵は名譽の負傷をうけた

重砲隊除隊兵

百二十三名出發

〔大連二十日發國通〕旅順重砲兵大隊除隊兵百二十三名は鄕軍服に着替へ二十日出帆の「はいかる丸」に乘船、市民、學生多數の見送りを受けて鄕里に向け出發した

復活要求額は

最大限度八千萬圓程度か

齋藤首相の觀測

〔東京廿日發國通〕第二回豫算閣議は二十四日に開かれることになつたが、復活要求に對する首相の觀測では承認額は本年豫算との開きたる三千萬圓程度か又は公債發行總額の比率たる一億二千萬圓程度とする公債發行の開きは追加豫算を含む事を考慮せねばならぬので結局承認額は五六千萬圓、最大限度八千萬圓程度になるのではないか、但し藏相は全部一蹴の方針だから、それ以下に削減されるかも知れぬと觀測してゐる

各省からの復活要求豫算內容

〔東京廿日發國通〕各省の復活要求は午前中に大部分提出されたが總計三億を超へる模樣である、陸軍省は滿洲事件費三千三百萬圓、資材整備費七千萬圓、燃料研究費其他五百萬圓、合計一億八百萬圓見當で結局削減を承認したのが三千五百萬圓見當である

文部省では午前九時半から省議を開き復活要求九百五十萬圓見當の復活要求書を提出した、農林省の復活要求は農村經濟更生施設費四百萬圓、農業林業、保險費七十五萬圓、蠶系對策費二百四十萬圓、肥料對策費二百五十萬圓、農業土木費千五百萬圓、第二回治水事業費二百萬圓、其他六百卅五萬圓、合計三千三百萬圓である

藏相も峻拒を決意

〔東京二十日發國通〕各省の復活要求總額は三億三、四千萬圓程度の巨額に達する模樣であるが事務當局は財政の現狀並びに將來の財政確立のため考慮して既に大体この査定を以て最大限度豫算を編成して來たと確信し、これ以上の復活要求は峻拒するに決意した從つて問題は結局高橋藏相と他の閣僚大臣との政治的折衝に移されるものと觀ねばならぬが當の陸相も三十日三十一日藏相と會見の際藏相より國防の充實は今回の査定案を以て一應滿足すべき狀態に達して居るからこの上は財政並びに國力との調和に重點を置き專ら將來の財政の確立に留意すべきである、從つてこの各省から提示さるべき復活要求の如きも原則としてこれを承認すべきものでなからうとの財政論を進言して藏相の決意を促したるに對し陸相も藏相の意見に全然同意なる旨答へた程で政治的折衝の結果も復活要求承認は稍々二千萬圓程度と觀ればよい、各省を滿足せしめるには困難だらうと觀られて居る

若槻民政總裁上野で襲はる

犯人直ちに逮捕

〔東京廿一日發國通〕若槻民政黨總裁は金澤支部大會に出席、二十一日午前七時上野驛着列車で歸京したが、同總裁一行が改札口を出でんとした際、突然三十五、六才五分刈の壯漢が短刀で襲ひかゝつたが護衛の爲めに遮ぎられ幸ひ無事なるを得た、犯人は直ちに逮捕上野署に連行目下嚴重取調べてゐる(寫眞は若槻總裁)

鐵相の奔走で

首相藏相の意見完全に一致

只海軍の態度が問題

〔東京廿一日發國通〕三土鐵相が廿日午後高橋藏相の意中を齎らし齋藤首相を訪問の結果更に再度藏相と會見する等慌しい「働き」振りを見せたことは、各省の豫算復活の折衝が漸く高潮して來た折柄頗る注目されて居るが、右は明年度豫算中の最難關と目される國防費とりわけ海軍豫算に就き事務當局の折衝に打開の色が得られざるため特に財政に通ずる鐵相が積極的に乘出し、政治的解決の奔走に入つたもので鐵相は齋藤首相と會見の際藏相の意圖としては、明年度豫算に關しては原則的に絕對に各省共復活要求を認めざる方針なる旨を傳へ特に尨大な海軍側の復活要求を認むる時は本豫算査定に對し財政建直し根本方針に立脚して苦心の末漸く整へたる歲入を以て歲出を賄ふ經常費の平衡は全く破られる結果となり此點からしても財政當局としては承認し難いものである旨を傳へたが首相としても海軍出身であるだけに海軍側の要求にも無理からぬ點は多々認めてゐる譯であるが國家財政の大局より觀て藏相の態度に全幅の信頼を懸ける旨藏相の方針に贊意を表した爲め「鐵相」は首相の此の意圖を齎し更に藏相に報告し茲に藏相首相の意見は完全に一致をみた譯で唯此の結果に對し海軍當局が如何なる態度に出づるかが問題として殘されてゐる

來年末の公債總額百億

〔東京廿日發國通〕大藏省査定の來年度一般會計豫算は、來年新規公債發行額七億百萬と見積つてゐるが、今後更に特別會計の電信電話公債、殖民地公債を加算すれば優に十億に達する見込みで現在の公債總額は八十八億七百八十九萬圓に達してゐるから今後發行の變附公債があるから、年末には八十億に及ぶべく、それに來年度の十億を加ふれば總額實に九十億といふ巨額に達する事となるう而も此の外短期債券たる大藏證券、米穀證券約五億圓があるから來年末の公債總額は九十五億で文字通り百億近い公債の山が國民の前に積まれ、之を國民一人當り負擔にすると九十圓乃至百圓になる勘定でありこの利子が五分で五億圓、それに恩給額一億五千萬圓を加へた額は總稅收入全部に略々匹敵する事となる譯である

兼井鴻臣氏

大村氏と懇談

金福鐵道支配人兼井鴻臣氏は二十一日午前十時大村交通監督部長と會見金福鐵道の安東との終端驛結びつけることに關し懇談大村部長もこれを諒解した、なほ氏は午後一時半から石丸執政府侍從武官とも會見した

再訓電到着で

我代表部活氣づく

廿一日の會議一擧成否を決せん

〔デリー二十日發國通〕日印會商に關する政府の再訓電は豫想より早く二十日午前代表部に到着したので代表部では此際「今迄の沈默を破り二十一日午前十一時から本會議を開くこと」を決定、此の旨直ちに印度側に通告した再訓の內容は大體代表部の意向通り我國本來の面目に立歸り正々堂々の態度を以て此際會議の成否を一擧に決することを最善なりと同意して來たもの〻如く今迄待機中の代表部では此の出先と本省と最後の意見がぴつたり一致し ここに頗る元氣付き二十一日の會議を以て一擧に成否を決す可く決定的最後案を提案することゝなつた、依つて日印會商の結末も愈よ近づいた譯で大いに注目されてゐる

北安鎭で日本人殺害さる

當局犯人嚴探中

〔チチハル廿日發國通〕本日當地滿鐵建設事務所に入つた情報によれば二十日朝北安鎭守備隊裏手に何者かに殺害された日本人の二死体が遺棄されてあるのを通行人が發見し、直ちに當局に屆出たので大騷ぎとなり、死体に就いて種々檢視の結果右は海克線の鐵道建築員堂園淸(三五)及び中野近(三六)と判明したのみで原因其他に關しては一切判明せず當局では匪賊の犯行とにらみ犯人嚴探中

北安鎭に匪賊襲來

交戰三時間の後擊退

〔北安鎭十九日發國通〕去る十六日午後二時頃海克線海北鎭東方約五方里の地點に百餘名の匪賊が襲來し、更に海北鎭襲擊を企圖しつゝありとの報に接し縣警察では直ちに出動交戰約三時間の後、漸くこれを擊退したがこの戰鬪に於て五名の戰死者を出した、尚は該匪團は過日陽家を襲擊せるものらしく目下海倫守備隊の手により討伐中である

人事往來

▲刑士廉氏(吉長地區警備司令官)二十日午後零時三十分發吉林へ
▲安江少佐以下四十九名(獨立守備〇〇隊)同上敦化へ
▲謝介石氏(外交部總長)二十日午前六時三十分發吉林へ
▲荒木一等兵以下十六名(第〇〇測量教習員)二十一日午前七時着旅順から、同日午前八時三十分發哈市へ
▲花田理事(北鐵理事)二十一日午前八時三十分發哈市へ
▲枕理事(同上)同上
▲ヨルゲンソン氏(駐哈デンマーク名譽領事)同上
▲石田大佐(侍從武官)二十一日午前九時發奉天へ
▲坂本少佐(奉天憲兵本部附)同上
▲井手書記官(賞勳局)十九日着京滿洲屋旅館投宿中
▲于師備司令官(奉天滿洲警備司令)二十日來京ヤマトホテルに投宿
▲德栃嗣氏(京師憲兵司令官)同上
▲大場鑑次郎氏(關東廳警務局長)二十日午後四時三十分發大連へ
▲村上義一氏(滿鐵理事)同上
▲十河信二氏(同上)同上
▲竹中政一氏(同上)同上
▲横森大尉以下四十三名(步兵第〇〇聯隊先發部隊)二十日午後四時四十分着吉林から
▲于芷山上將以下三十四名(大滿警備軍)二十日午後七時三十分着大連から
▲鳥木大佐(哈爾濱憲兵隊長)同上奉天から
▲佐久間少佐(軍政部顧問)同上內地から
▲菅野少佐(同上)同上
▲神宮司中佐(步兵第〇〇聯隊)二十一日午前六時三十分發

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 一八片八分三
同 遠限 一八片一六分七
紐育銀塊 四四仙四分一
米日爲替 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲上海標金
現物、十二月限、一月限、三月限、五月限、七月限、十月限 [illegible]
昨止 [illegible] 高値 [illegible] 安値 [illegible] 本寄 [illegible] 歩値 [illegible]

▲上海日本向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]

▲上海倫敦向
賣値 [illegible] 買値 [illegible]

▲上海紐育向
賣値 [illegible] 買値 [illegible]

▲大連金鈔票
現物 [illegible] 十一月二七日限 [illegible] 十二月十三日限 [illegible]
寄付 [illegible] 歩値 [illegible] 出來 不

新京市況

▲大連上海向 引 [illegible] 高値 [illegible] 安値 [illegible] 出來 [illegible]
▲大連臺台向 [illegible]
▲阪神日米爲替 第一回 [illegible]

糧豆現物
特產 大豆 [illegible] 八車
高粱 [illegible] 五車
小豆 [illegible] 五車
包米 [illegible] 四車
同先物 高粱 [illegible]
錢鈔
鈔票對金票 [illegible]
現大洋對金票 [illegible]
國幣對金票 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]

各地市場

▲大阪株式 新東、同、大鐘、新紡 [illegible]
▲同短期 新東、新鐘 [illegible]
▲大連株式 大連、新 [illegible]
▲大阪三品 五品 當先 [illegible]
▲大阪棉花 當月限、一月限、二月限、三月限、四月限、先 [illegible]
▲大阪期米 當限、先限 [illegible]
▲仁川期米 當限、中限、先限 [illegible]
▲橫濱生糸 當限、中限、先限 未着
▲大連特產
●麻袋 現物、十二月限、一月限、出高 [illegible]
●大豆 袋込、十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限 [illegible] 寄引
●豆粕 現物、十二月限、一月限、二月限、三月限 [illegible]
●豆油 現物、十二月限、一月限 [illegible]
●高粱 現物、十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限 [illegible]

まだ宵の口に 兩替屋へ拳銃强盜
二百三十九圓余を强奪し せゝら笑つて逃走

二十日午後八時十分ごろ市内日本橋通十番地兩替業同盛祥こと徐占三氏方へ二人組（内一名拳銃所持）の拳銃强盜が表入口から押入り居合せた店員徐黑耀（一九）外五名に『拳銃』を突付脅迫したゝめ徐外三名は恐れ裏口に飛出すや賊は拳銃を發砲し見張中の店員許秀春を捕へ帳場の机の抽出から國幣七十圓、金票八十五圓、現大洋五十二圓、哈大出十五圓、合計二百三十九圓九十錢を鷲掴みに强奪した後賊は更に拳銃を發砲し苦笑をのこし悠々逃走した、急報に接した新京署では全署員を召集し非常線を張るとゝもに司法刑事隊は倉田司法主任指揮の下に現場に急行犯人逮捕に努めたが逮捕するにいたらなかつた。因に賊は人相その他の事情から押して去る十日三笠町二丁目十四番地雜貨商王慶昇氏方を襲つた犯人さ『同一』さにらんでゐる

貨物列車荒し 遂に逮捕さる
盜んだ品が三万余圓

最近新京驛發の貨物列車連結の貨車の錠が破壊され『在貨』が頻々さして竊取されてゐる、沿線各驛はもちろん新京署では極力犯人捜査を續けてゐたところ熱河省生れ李鳳閣（三三）山東省生れ李鳳榮（四〇）河北省杜永發（二九）等の所爲さ判明し、二十日午後三時ごろ中谷、呂、李の三刑事は一味の巢窟である滿鐵南門裡を襲ひ大格闘の末逮捕し取調べたところ、一味は本年八月から新京驛發貨物列車に目をつけ連續的に驛構内に侵入し夜間列車が發車するさ同時に貨車にすがり新京、范家屯間進行中錠を破壊し內部に入り綿布、煙草その他高價品を物色しては列車內から落し暗に乘じて『城内』に運搬し賣却してゐたもので自白したものが十五件餘時價三萬七千圓餘に達してゐる

今年に入つて初めての大雪
八時間で降り熄む

二十日午後六時四十分から降りかけた雪、だんく降り積つて漸く翌二十一日午前二時四十分降り熄んだが積雪十一センチ（三寸六分三厘）今年に入つては無論始めての大雪であつ、お陰で氣溫もずつさ下つて零下十四度二、新京觀測所に聽いて見るさ

昨年十一月中に最も多く降つたのが十一日の十四センチだつたからまだく多かつたわけです、氣溫もこれで冬さしては本格ですが今年も去る十二日は零下十六度に下つてゐるからそれに較べるさまだく暖い方で大したことはありません

さ語つてゐる

雪除けに百六十圓

ソレ雪だ、さ、日本橋通り南廣場に夜明け前から押し寄せた苦力、滿鐵土木係ではその中から強壯者二百名を召集して全市の除雪を行つたが、一人當りの日當金で八十錢、總計百六十圓で、廿一日朝の雪は百六十圓の黄金が除つた理由であるさは、雪も案外馬鹿にならぬ

國境にまたも 不法射撃事件起る
ソ聯騎兵滿洲國警察隊員に發砲

〔新京二十日國通〕十八日夜國境滿洲里に於てソ聯騎兵が滿洲里國境警察隊員に對し不法發砲せる事件が滿洲國外交部に入電するや時節柄關係方面は一時緊張したがその後詳報なく外交部では二十日外務部北滿特派員公署辨事處に對し右事件の眞相を調査し事實さあらば嚴重抗議せよさ訓令を發した、右に關し外交部神吉政務司長は語る

公報には接して居るが滿ソ兩國間に種々な交渉が行はれて居る時ソ聯さ雖も殊更に滿洲國の感情を刺戟するやうな行動は採らないさ思ふ若し重大事件にすればその後詳報が入つて居なければならぬ筈だ、最近國境方面の些細な出來事も誇大に報導される嫌ひがあるから尙外交部さしては眞相を確める必要がある

鐵路警察權を 民政部へ移管
近く兩當局で審議

交通部主管の鐵路警察は統制機關なき狀態に於ては別して支障なかつたが旣に鐵路總局の出現を見、實質的に總局は交通上の統制を取りつゝあるので、各國營鐵道線上に於ける警察權を單に鐵路行政の機關たる總局をして路警を置かしむるは警察統制上面白からずさなし、鐵路警察權を民政部へ移管するの議擡頭し近く民政部警務司さ鐵路總局の間に此の移管問題が審議されることゝなつた

長春座總會延期

株式會社長春座の善後策に就ての臨時株主總會は都合により來る二十五日まで延期された

けふ聯合婦人會 第三回總會
藤森參謀長から講演聽取

新京聯合婦人會第三回總會は旣報の通り二十一日午前十時半（十時の予定なりしも積雪のため）から新京高等女學校講堂で開催された、夜來の天候は五寸の積雪を齎らし惡天のため會員の集りは一般ににぶり、それでも開會前に百名を越し後から續々さつづいて參會者があつた、來賓には駐滿海軍部參謀長藤森大佐、加藤新京衛戍病院長、小林關東軍參謀、小野寺地方事務所庶務係主任等で先づ靑木幹事の開會の辭に次いで總員君が代合唱、吉澤幹事長の挨拶、赤木幹事から事業の報告、澤田幹事の兵士ホーム及び會計報告說明あり、來賓の藤森參謀長の「帝國海軍の使命」の講演あり、來賓の感話あつて荒木幹事の閉會の辭あり盛大裡に閉會した、この日の會場には奉天兵士ホームの橋本榮子女史の顏も見へ來會者の目をひいた、午後は余興盛り澤山で意義ある一日を樂しく暮して四時散會した

自轉車泥棒逮捕

奉天省生れ住所不定周虎臣（二九）は十九日午後五時ごろ自轉車一台をかつぎ市內五條

四洮線への 直通列車復活
ペストが下火となり

今夏農安地方ペスト猖獗するや大連奉天間、奉天齊々哈爾間は四平街で打ち切り滿鐵その他種々防疫手段を講じてゐたが昨今に到りやうやくペストも下火さなり旣報の通り四洮、奉山の諸線における旅客小荷物、小獸類、毛皮等の輸送不受託制限範圍を縮めたが、なほ二十一日からは從來四平街で打ち切り連絡をさつてゐた大連、奉天、齊々哈爾間の第二十三、二十四、二十五、二十六列車を元通り直通運轉をなし旅客の乘り替へ、荷物の積み替への不便を除くことゝなつた

スケート用具 約半値で購入
室町小學校で取扱 兒童達のために父兄へ奬勵

今年もいよく酷寒の冬に入つたが、冬期体育中唯一のスケートも新來者の激增によつて今年は一層盛んにやらうさ西公園リンクを始め新京高女、室町、西廣場兩小學校も放課後一般のために開放され、殊に室町小學校庭の新リンクは大スケート場さして着々設備を急いでゐる、スケートは滿洲各學校では正課さなつてゐるので同校でも兒童のためにこれが奬勵普及に當ることになつてゐるが、スケートにつき物のスケート用具については物價騰貴に正比例して相當高くしかも中にはいかがはしい物も見受けられないでもないので特にこの點に留意し學校で最も安價堅牢な安東スケートを同校の賣店で取扱ふことゝなつたが價格は靴八文以下二圓二十錢、八文以上二圓九十錢、新京の市價は大体五圓見當だそうであるから約半値で得られるわけで、またスケート安東ロングは二圓七十錢で得られることになつて居り、新道奬勵のため兒童体育のために一般の購入をすゝめてゐる

帝展終る

〔東京二十日發國通〕秋の美術界を賑はした帝展は今日で閉幕したが、今年は入選作品の賣行きも昨年に比して遙かに多く美術界にもインフレ景氣を反映して居る

間島赤色暴動犯人 夫昨今日求刑さる
死刑十七名無期二十五名

〔京城廿日發國通〕間島の赤色暴動事件公判に於て被告に對し佐々木檢事より左の如き求刑があつた

刑	人數
死刑	十七名
無期懲役	二十五名
懲役十五年	十一名
同 十二年	三名
同 十年	一名
同 八年	九名
同 七年	十名
同 六年	三十名
同 五年	五八名
同 四年	十六名
同 三年	五十名
同 二年六個月	一名
同 二年	二十名
同 一年六個月	一名
同 一年	一名

滿鐵全線スピード アップ近く實現
交通界に大革新

〔大連二十日發國通〕滿鐵々道部では旣報の如く超特急列車運轉の計畫を樹て、目下之に使用する機關車及び新車体の設計に沒頭してゐるが、更に進んで一般旅客列車（普通列車、區間列車共）のスピード・アップも計畫し區間列車中、大連・奉天間、奉天・新京間に區間急行列車を運轉し大連・奉天間は五時間、奉天新京間は約四時間で走破さすべく目下之が技術的研究を重ねてゐる、之に從ひ貨物列車も隨伴的にスピード化を圖つて速力の均衡をとることになるが結局は客車の全般的スピード化が近き將來に於て出現されるものさ觀られ、之が實現の上は滿洲交通運輸界に一エポックを劃するものとして目注に値ひするものである

再建全協
廿日記事解禁

〔東京廿日發國通〕プロフインテルン指導の下に日本共產黨さ協力して各工場細胞を中心に果敢な闘爭を續け黨の母体さなつて多くの闘士を送り出した日本勞働組合全國協議會（全協）は昨年五月溝上、角田伊藤、田中、伊藤一郎等の檢擧に依つて壞滅狀態に陷つて居たが其後殘留幹部に依つて再建され勢力の擴大强化に努めて居たので警視廳特高部勞働課では內務省及び東京地方檢事局さ打合せの上新聞記事の掲載を禁止して本年二月二十七日中央部の一齊檢擧を行ひ爾來檢擧を續けてゐたが此程一段落を告げたので二十日午後五時解禁さなつた

今回の檢擧總數は千六百九十六名內女六十八名鮮人九百二十六名で旣に起訴された者百四十五名に達し稀に見る大檢擧である

早慶紛擾に 早大意見一致
寺島部長は辭職

〔東京二十日發國通〕早稲田學內協議會は十九日午後七時大隈會館に開催、山本體育會長、寺島部長、大下監督、先輩及び公木主將、選手代表等出席し九時半に至り學內の意見一致したのでリーグ當局に對する回答案は二十日正午山本會長から平沼リーグ會長へ文書で回答を手交するに決定した、回答案は發表されぬがリーグ勸告案さは切り離し寺島部長は自發的辭職することゝなつたので圓滿解決を期待されてゐる

早慶戰紛議で 早大揉める

〔東京廿日發國通〕早慶紛議に關する早大側の態度は體育會の同情により野球部さ應援團さの三者の間に意見の一致を見出さんさしてリーグ當局の勸告案に對する回答は延期されたが體育會は十八日午後首腦部會を開き十三日秘密裡に提出された寺澤野球部長の辭表を受理し又十七日提出された大島監督の辭表は一時保留するに決したので野球部さ應援團は三者聯合の方針を蹂躙してリーグに屈服せんとする學校體育會當局の態度に憤慨野球部さ應援團は同日午後夫々會議を開き體育會の處置に對し強硬反對の態度を決し殊に野球部は總退部を敢行しても反對意志の貫徹に邁進する決意を定め野球部は更に十九日午後六時戸塚合宿に選手會を開き飽く迄結束を固め初志貫徹に努めることに決し六時五十分散會した、早大當局は野球部選手の意外な強硬態度に驚き協議の結果野球部、應援團學校當局の三者聯合協議會を開き學內の意見を纏めた上山本體育會長が平沼リーグ會長に面接一氣に解決を期する方策に出ることゝなり十九日午後七時學內協議會を開催したが前途は豫測を許さぬものがある

常盤津長太夫門下 吉林藝妓の來演
二十七日夜長春座で

來る二十七日長春座で常盤津壽會演奏會さいふが開催される、晝間は軍隊慰問、夜間が一般への公演さなる模樣である、出演者は常盤津三藏分家常盤津長太夫門下吉林花柳界の連中で先月來演の豫定であつたが、恰度その頃新京花柳界の常盤津溫習會があつたので遠慮し待機中のさころ、來月に入つてはまたどこも忙しくなるからさこの月末に開演に決定、目下長太夫師を始め後援の人々が來京準備中で大擧して長春座の舞台で新京人士に見參し研きをかけた腕の批判を待つさいふので一般から非常な興味をもつて迎へられてゐる

けふの銀相場

種別	相場
鈔票對金票	一二三·五〇
現大洋對金票	一〇九·四〇
國幣對金票	一〇九·四〇
現大洋對鈔票	九七·四五

吉林小學校 卒業兒童を 日本の中等學校へ入學させる

吉林省公署旗業科では曩に駐日公使丁士源氏より吉林省長熙洽氏に宛てたる私信中、吉林旗族留學生中、小學校を卒業したる兒童を日本各中等學校へ入學せしめ旗族の日本留學の目的を遂せしめる云々のことがあつたので種々研究の結果、旗業科でも之れを諒

金融 恩給信用 低利貸借 給者特に 歡迎
新京入船町一丁目廿三 電四七九六番 三光社

街の日記

青年同志會 廿三日に演說會

滿洲青年同志會新京支部では來る二十三日午後六時三十分から新京高等女學校講堂で非常時局並に滿鐵改組問題に就き演說會を開催することになつた闘士は十二名

滿電バス 中央廣場へ新線

新京滿電支店バス部では予て滿洲國の國都建設さゝもに更に運轉線路を擴張したが今回中央廣場に新線を設け一般通行者の便を圖ることになつた

岡田法雲師來任

四平街西本願寺に駐在中であつた布敎使岡田法雲師は今般本山の命により新京西本願寺に轉任さなり去る二十日着任した

宮本東樹氏の 修養講演

修養講演師さして知られてゐる朝鮮總督府鐵道局宮本東樹氏は修養講演のため沿線各地を巡回中、來る十二月七日新京でも同樣講演をなすことになつた

開 日の出シウマイ

市內東三條通り謝公館の近くに「日の出」さいふシウマイさブタマンジウの店が出來た、尺八のお師匠さん西田方山師の內儀の經營するさころ、遠近に不拘出前もする電話は四九八〇

橋南花街の魁け 扇芳亭開業

大連の料亭扇芳亭が新京に進出永樂町の一角に數萬圓を投じ新築中の建物が此の程竣工二十一日の吉日をトし華々しく開業した、粹を凝らした建築に調度、女將松村せつさんは長春に馴染みの深い人また仲居さんの多くは新京粹人の知らぬ者の無い顏、あの一廓は他の料亭が開業さ同時に券番制度さなるので藝妓は大連券番から老妓若妓數名が應援に來てゐる尙附設グリルは二百人位の宴會が出來るさいふ宏壯なものでこれも數日中に開業するさうである

神谷商店の 二割引賣出し

吉野町二丁目神谷商店は小間物半エリ化粧品の專門店であり新京草分けの老舗で開店以來旣に十五年の歷史を閲し今日の信用を得て居るが二十一日より三十日迄十日間平素の顧客に對し破格二割引で前記十五週年紀念賣出をして居るが盛況である

拾ひもの

▲大和通五十六番地露人チエバラナ氏は十五日午後四時ごろ曙町一丁目二番地路上で白銅ショール一個を拾つた

▲大和通五丁目二番地朱勝臣氏は十四日午後　時三十分ごろ客馬車上で花立台一個（三脚）を拾つた

落しもの

▲日本橋通卅五番地平本洋行內網下止二氏は十四日午後三時ごろ黑皮製二ツ折財布一個在中四十七圓を落した

▲大經路八號滕樂知道氏は十五日午前一時三十分ごろ三笠町三丁目で懷中時計一個時價十五圓を落した

▲富士町四丁目二十六番地中島位氏は十三日午後一時ごろ黑皮製ジャバラ付財布一個在中二圓及び學院受領證を落した

▲入船町四丁目二十五番地東棧止宿文敎部學區陶西氏は廿一日午後零時五十分ごろ黑皮製鞄一個在中國務院任命狀通信備忘錄其の他書類若干を客馬車上に忘れた

盜難屆

▲入船町三丁目十九番地金子己代治氏方へ本月三日から十五日の間何者か侵入して奧六疊の間簞笥中にあつた銘紗羽織一枚時價十八圓八十錢外二點時價十三圓を窃取されてゐるを二十日發見し屆出た

美味……うまい シユウマイとぶたまんぢゆう
御温保に備付機械の製品はいつもおいしいものを迅速に御届いたします 味本位の苦心留意
御下命は 電四ヨ九ク八ヤ〇レ番へ
うゅぢんまたぶ料食 イマウユシ出の日 新京東三條通三八

本日開店
漁場より直送の まぐろ
吉野町二丁目 電四九二四番 二かく

給仕及女中入用
毎日午前まで又は午後六時以後中央通松屋旅館にて面談す
東京電氣株式會社 新京出張所

社員募集
一、年齡廿五歲以上の相當敎養ある日、鮮、滿人を求む
一、駐在地滿洲國主要各地
一、履歷書持參來社
千代田生命新京事務所 新京中央通二三（滿鮮ビル）電話三四〇五番

女給募集
毎日正午ヨリ午後七時マデ本人來談ノ事
洋酒とカクテルの店 祝町三丁目 酒場みどり（開花前）

ラヂオ講座開講
日時 昭和八年十一月廿八日廿九日三十日 三日間 毎夕 午後四時半至午後六時半
會場 新京高等女學校
講師 新京放送局長 加藤誠之氏
講習要目 一、世界のラヂオ界 二、電波と其擴がり方 三、放送局と其の設備 四、中繼放送 五、ラヂオの受信 六、受信機の取扱ひ方
聽講料 金五拾錢
申込期日 廿七日迄（但し定員に達する場合は同時〆切る事あり）
申込場所 滿洲電氣協會駐京辨事處（營業部內）電四九九四 滿電支店營業係 電二〇九三、二二五六番
主催 社團法人 滿洲電氣協會駐京辨事處
後援 新京放送局 南滿洲電氣株式會社新京支店

(九十八)

(新派上演劇化) 玉水三郎 (畫)長谷川小信

最後の一策(三)

小島三平は憮然として、どうすれば好いか解らなかつた。

名指しで御用と呼ばれては、今は免るゝ處でない……と思ふと同時に、今宵鳥越の使と言つたは偽りで、欺いて誘ひ出したのかなと思ふと、其身の不用意を悔ひながらも、其身よりは背の子十松に怪我さすまいと思つた。

無慚の太吉と林藏の二人は、藏前の六藏諸共に、十手を振込んで、否れ召捕つて手柄にせんと立向つた。

何にも言はぬ三平は、丸腰の事ゆえ如何ともする事叶はぬが、嘗て主人高坂甚内が存生中、鍛えを受けたる柔道の一手、當るを幸ひ取つて投げ、又一方十手の雨霰を巧に開外して防いでゐた。

大瀬道十郎は大聲に、

「對手は手利きであるぞ。油斷致すな……ソレツ纏ひ繞りに召捕れ」

八方から隙なく十餘人に圍まれた。何分背中に負ふた弱い子が邪魔になつて働けない。

十松も目を覺まして、ワツと泣き出す。

「阿父ちゃん怖いよ」

悲しげに泣く我子の聲を聞いては、身も世もあらぬ思ひの三平、何とかして一方の血路を開き、及ばぬまでも逃れんものと焦る。

道十郎は聲を勵まして

「子供を奪へ……小兒を奪つて了へよ」

「心得ました」

左右から太吉と林藏が、十手を打込む間に、藏前の六藏は三平の背後へ廻つた。

同時に兩手を伸ばして、十松の左右腋の下に手を入れ、グツと抱いた。

左はさせじと振切らうとする三平、必死の力を出して身をもがいたが及ばなかつた。

それは前から太吉の打込む十手が、三平の肩口へ最も強く當つたので「アツ」と怯む所へ林藏が、

「野郎御用だ」と十手の柄で三平の眉間へ、目を眩ます痛の一打。

「無念」と一聲、氣の遠くなつた三平が、遂に十松を六藏の手に奪はれて了つた。

火の附くやうに泣き出す十松。

「アーン、阿父ちゃん」

其聲に氣附いた三平。

「我身にも代へ難き最愛の一子、奪ひ還さで置くべきか」

六藏に向つたが、何をいふにも無手、其處へ十手は雨霰、哀れや三平も其場に打倒され、忽ち本繩に罹つて了つた。

「阿父ちゃんよ」

泣き叫ぶ十松を、情容赦なく懐抱に引ッ抱へた六藏。

「大瀬の旦那、手強い野郎でござえやした」

「旦那の機轉で子供を囮に、難無く丸けて了ひやした」

太吉が諂つてお世辭笑ひする。

林藏は三平の繩尻を取つて、

「コレ三平、手向ひしたつて駄目な事だ、此處に御出役のお方は、同心大瀬道十郎様だぞ、汝の舊主で女房お菊の父親、高坂甚内を召捕つたのも此旦那だぞ……マアつきせぬ縁だと思つて諦めろ」

斯う言はれた時は、小島三平の無念さと言つたらない。

「アヽ主人にして、斯に盡る、大恩ある高坂甚内樣を此奴が召捕つたのか」

口へは出して言はぬものゝ、白眼をして睨と其顔を見た。

「ソレツ町奉行所へ引立てろ」

道十郎は意氣揚々たるもの。

十一月廿二日 舊十月五日 水曜 壬辰 友引 執 箕宿

●一白の人 萬事蹉跌を生じ易く福祿薄き日起業開店凶 乙と辰と庚が吉
●二黒の人 乘氣になれば首尾全からざる事あり退守吉 丁と庚と戊が吉
●三碧の人 計畫の順調に捗らぬ日焦りて窮境に落入る 乙と壬と癸が吉
●四緑の人 無理難題の起り易き日内外の親和を害さす 乙と辰と癸が吉
●五黄の人 自尊心のみ強くして敬遠せらるゝも如き日 丁と戊と寅が吉
●六白の人 頭を擡げて伸び行く日力を注げば功を奏す 未と庚と辛が吉
●七赤の人 善士策に倒るゝの恐れあり只精力あるのみ 庚と辛と寅が吉
●八白の人 損得づくにて事を企てず實意を以て立てよ 戊と亥と寅が吉
●九紫の人 既定の業務に專念すれば繁榮を見すべき日 丙 丁と寅が吉

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行
×三等船客投錨船 (午前十時大連出帆)

船名	出帆日
うらる丸	十一月廿三日
はるびん丸	十一月廿五日
×たこま丸	十一月廿六日
香港丸	十一月廿七日
うすりい丸	十一月廿九日
ばいかる丸	十二月一日
×しあとる丸	十二月二日
亞米利加丸	十二月三日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符(往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符ハ復路運賃二割引)通用期間二ケ月)通用期間三ケ月)
●專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番
奉天出張所 電話四〇八九番
新京出張所 電話二三一六番

新京日日新聞社 營業部 電話三三〇〇番

食料品と雑貨は 市場内 日華洋行へ 配達は飛行式 電話三三四三 三八二五番

はき物は『ハキヨシ』 防寒草履が參りました 小林はき物店 電話 二ラ三ミ四ヨ四シ

鏡臺と 世帯道具が揃ひました!! 家具と敷物 新京日本橋通 品川洋行 電話 三六二番 二五〇九三

歯科 口腔科 錦町二丁目 早川醫院 診療時間 自午前九時 至午後五時 日曜祭日 午後休診 電話三二九六番

新高飴 安價で美味い ボッチヤンジョウチヤンの散歩のお供 新京日本橋通七二 新田支店

金物の御用は何でも揃ふ店 ……取扱品目……
建村用金物 家具建具金物 鐵工土農用具 家庭用金物 度量衡各種
露式金物類 大工道具一式 和洋打及物 ゴムホース類 衛生陶器類
其他金物荒物一式
金物百物店 西脇洋行 三笠町二丁目(演藝館前) 電話二二四〇

機械工具 煖房材料 水道用品 衛生陶器 油脂塗料 東華洋行 新京日本橋通六〇 電話三二五七番

知識眼科醫院 新京大和通六六

會席御料理 小鉢物 博多水たき鍋料理 氣持のよい御座敷自慢の御料理 本日より(ふぐちり)を初めました 食道樂 竹葉 三笠町三丁目新京銀行前 電話三八〇一番

辯護士 沼田勇法律事務所 入船町四丁目廿九ノ二 電話二一四七番

近代的流行の粹を誇る オーバと冬服! 生地……裁斷……仕立…… きつと御氣に召します!! 高級レデーメード 豊富入荷 エスヤ洋服店 新京吉野町二丁目 電話二六一九番

滿洲國警務司 滿洲國土木建築協會 囑託醫 外科 花柳病 大森醫院 梅ケ枝町三丁目 電話三四九三番

國産 三井茶園製 日東紅茶 市内各食料雑貨店にあり

風の神の訪れを閉出せ! ハカリ印のヘブリン丸 二十錠(三日分)より
落葉カサコソ 風の神乘せて 北の國から飛んで來た
かぜの藥と名が付けばドレデモよいと思つたら大間違ひです。胃腸を害せず、心臓を刺戟し、頭痛を鎮め、穏かにねつを下げるハカリ印のヘブリン丸こそ眞のカゼ藥です
主治効能 ▼感冒(風邪) ▼流行性感冒 ▼耳下腺炎 ▼扁桃腺炎 ▼麻疹 ▼リウマチス
大阪北濱 參天堂株式會社

硝子 鐵 塗 材料 硝子入並ニ塗装工事請負 セメント・土工用具 防水材料・陶器タイル ゴムベルト 建築材料商 T.A 天野商店 支店 吉林城内 新京東一條通 電話長二二九二 二九六五 二六七

花も實もある…… 朗らかなホール! 美人揃ひのウエータ連のサービス振りを御覽下さい 三笠町二丁目 カフエーライオン 電話二三七九番

大正九年十月二十日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

舊紙幣の回收 九分通り終る
殘るは小額紙幣のみ
補助貨の鑄造も漸次進捗

滿洲國內に於ける現在の流通貨幣は、總額一億四千二百萬圓であるが、その中政府發行の新紙幣流通による舊紙幣回收額は七割で今尚三割の未回收紙幣があるわけである、この三割の未回收紙幣は、その殆ど全部が少額紙幣で、哈大洋も幾分殘つてゐるが、地理的に交通不便な土地が殘つてゐるのみで、實際の成績は、殆ど九割方の回收を終へてゐるわけで殘り三割は未回收紙幣も奉天造幣廠に於ける補助貨幣鑄造を急いでゐる今日、明年六月の期限迄の回收は完全に行はれるものと見られてゐる

銅版 凸版 北澤寫眞製版所 新京曙町四ノ九

福建省新政府 獨立宣言を發す
四項にわたるもの

〔上海廿一日發聯通〕既報福建新政權の成立と共に發した獨立宣言內容は左の如くである

一、人民の權利義務は凡て人民政府明白に之を規定實行す
一、不平等條約を撤廢する爲先づ完全なる關稅自主を實行す
一、人民は集會、結社、出版、罷工、信仰總て自由とし肉体勞働と精神勞働を平等に保護す
一、人民は土地均分、林礦は國有とす

軍費調達の爲
蔡廷楷福建廈門の中銀接收

〔上海二十一日發聯通〕獨立資金調達の爲綏靖主任蔡廷楷氏は昨日中央の十九路軍に對する軍費不渡りを名として各關稅其他各種稅收を以て之に充當すると福州廈門の中央銀行を接收せしめ暫時業務を停止して改組後之を營業する旨布告した

胡漢民氏
尙福建入りを決意せず

〔香港廿一日發國通〕廣西軍は十九路軍と呼應して廣東軍の背後を衝くべしとの相當强力に傳へられてゐる、尙胡漢民氏は當地を動かず當分の間福建入りの意思なきものの如くである

福建獨立政府は共產軍と諒解がある

〔上海廿一日發國通〕福建省獨立政府は既報の如く蔣介石打倒を目標に結成されたものであるが其の組成分子には社會民主主義部演達の第三黨殘黨及び[illegible]代表等の他に江西省南部瑞金から共產黨の代表も參加してゐる事明かとなり、殊に第六十師を率ゐて廈門に潛入つた深得標の如きは十九路軍部內に於る有力な共產黨軍として知られてゐる、此等を以て見るに新政府が共產黨と相當な諒解の下に樹立されてゐる、殊に外交委員會主席に札付の陳友仁氏を、教育委員會主席に曾ての極左運動の猛者第三黨の章伯鈞氏を据へたことは此の事實を有力に裏書してゐる

福建獨立に對處すべく
蔣介石軍隊の配置に着手

〔上海二十日發國通〕確聞するに蔣介石氏は既に中央軍に屬する二十師を福建省に面する浙江省に配置する爲め杭州に移動せしむると共に更に二十日河南省信陽方面に若干部隊は漢口に集結し、これも同方面に移動せしめる模樣である、尙南京中央政治會議は二十日午後八時緊急臨時會議を召集したが右會議に於て福建討伐に軍隊派遣の議が正式に決定された

リ氏の言辭は
芳澤、カラハン協定を冒瀆す
外務省成行き重視

〔東京廿一日發國通〕今回の米國のソ聯承認の條件はソ聯が曾つて第三國と締結した協定よりも米國に有利なもので且つ廣汎である、就中最も注目すべきはソ聯が一九一八年の米國のシベリア出兵に依る損害賠償請求權の一切を拋棄した點にあるが、以上の理由動機に關し廿日出淵駐米大使より外務省に達した情報によれば、我國のシベリア出兵を目して侵略的不法行爲なるが如きを想起せしめる等看過すべからざる重要なる內容を有することが判明した、即ち

一、リトヴィノフ氏は國交回復成立の十七日ワシントンの新聞協會々合の席上「ソ聯が米國のシベリヤ出兵に基く損害賠償請求權を拋棄した理由は自分が國務省を訪問した際米國の出兵はソ聯として感謝すべき行爲であつたことを親しく承認した結果なり」と述べた、而して同地諸新聞は米國の出兵はボルシエヴイキと戰ふ爲めでなくロシアの領土を保護し、日本軍を監視する意味を含蓄するものと解釋し居るもの如く、明かに日本の出兵を勞働革命運動を阻止する武力干涉にありとなしてゐる

一、換言すれば日本のシベリヤ出兵は反革命の武力干涉なるが故に、ソ聯は日本の出兵による損害賠償請求權は之を拋棄せずとの意向を暗に表明せるものと見られてゐる

而してソ聯と米國との間に債權債務問題の交渉が假令成立しても日本は芳澤、カラハンの日露基本條約によつて最惠國待遇條約の立場より當然之に均霑する事となるのであるが、リトヴィノフ氏の言辭は右基本協定の內容を妨害せんとする意圖に出でたものである

以上の理由によりリトヴィノフ氏の言辭は甚だ穩かならざる且つ猥りに基本協定の明文を婉曲に拒否したものとして成行きを重大視してゐる

陳濟棠氏は獨立反對

〔廣東廿一日發國通〕陳濟棠の福建獨立反對の態度は新政權の宣言發表と共に俄然明白となり、部下全軍隊に待機を命じ先づ廣州にある第三航空隊全部は總出動の準備をなし惠州駐屯の第四師が福縣省境前線部隊となるべく多數の高射砲、機關銃が同師に向け送附された

中央銀行鹽務稽核處無電臺接收

〔上海二十日發國通〕福建人民政府は廈門及び福州に於ける中央銀行支店を始め廈門鹽務稽核所並に無電臺をも接收した

蔣介石舊東北軍の切り崩しに努む

〔南京廿一日發國通〕華北に於る舊東北軍の勢力切り崩しをなすべく蔣介石氏は、嚢に王以哲氏を南京に招致したが更に今回萬福麟氏も蔣氏の招電に接し廿日午後南京に到着した

宋慶齡語る

〔上海廿一日發國通〕福州行きを喧傳されてゐる故孫文の未亡人宋慶齡は二十日訪問の某氏は左の如く語つた

現在の自分の立場は巷間傳へられる第三黨乃至社會民主主義とも異なるものがあるので今回の新政權に對して可否を述べる事を好まぬ但し新政權の出現は國民黨の反動政權の崩壞を一層促進する結果とならう

福建省人民政府國號 大中華共和國
軍隊の稱號、國旗も決る

〔上海廿日發國通〕信ずべき筋の情報に依れば二十五日正式成立を見た福建省人民政府は國號を大中華共和國、軍隊を人民革命軍と稱することに決定した、尙國旗は靑天白日旗に加ふるに民國創立初の五色旗の右側三分の一に縱に赤く染め五族平等と五族革命とを表示するものを配用する事とし既に主要各軍隊、官廳に配布したと

日印會商 二十一日の本會議未定

〔デリー廿日發國通〕我が代表部では十九日深更到着した一部の訓電に基き二十日午後二時より會議を開き緩東協議を續けた、但し未着の分もあるので二十一日の本會議も今の處未定である

滿鐵辭令

新京檢車區調度方 雇員 西村百一
新京保安區庶務方 同 坂本榮一
事務員を命ず(各通)
新京保線區技術方 雇員 高宮義男
技術員を命ず
新京鐵道事務所業務助手 甲傭 橋本馨
同 鈴木泉
新京鐵道事務所技術方 同 鎌田政直
同 岡部又次
新京驛々務方 雜務方同 酒井坂一
同 中村正義
同 中村圓治
新京驛警手 同 鮫島貞夫
新京驛操車方 同 塚本盧吉
同 練山義光
同 福井彌一
新京驛車號方 同 笹沼龍
同 飯高善藏
新京驛小荷物方 同 鈴木武夫
新京驛信號方 同 五十嵐榮三郎
新京驛貨物方 同 種田[illegible]
同 島本齊
同 小幡元信
同 今村朔生
同 新村鐘太郎
新京驛檢查助手 同 肥後盛夫
雇員を命ず(各通)
新京列車區庶務方 甲傭 藤井羊二
新京機關區庶務方 同 篠原清一
機關方 同 種田勳
同 金子二康
同 齋藤[illegible]矢
同 古道傳郎
同 酒井盛德
同 中村重一
同 神谷繁
雇員を命ず(各通)以下畧す

旅券不備で支那人五十名
ソ聯警備兵に射殺さる

〔ハルビン廿一日發國通〕旅券の手續きに多少の不備の點があつてもソ聯邦官憲は從來多數の支那人勞働者を入國せしめて居たが、當地に達した情報によれば、最近滿ソ東部國境でソ聯邦國境警備兵のために支那人勞働者五十名が射殺されたとの事である、右は支那人勞働者が國境を突破して滿洲國に入らんとしたが旅券に不備の點があつた爲めだと云はれて居る

飛機と軍需品技師を米國からソ聯へ派遣

〔ハルビン廿一日發國通〕當地に達した報道に依れば、アメリカの航空コーポレーシヨン、カーチス・ライトは、ソ聯邦政府當局と契約を締結し近くソ聯邦內で飛行機製作工場を開設し、多數の米人技師を派遣することとなつた、又アメリカの軍需品製造業者もソ聯邦の招聘を受け優秀なる多數の專門家をソ聯邦に派遣することになつてゐる由である

三井生命
賣權者 三井合名 (新京三井物産內)

中銀週報
自大同二年十一月十日 至大同二年十一月十六日

紙幣發行額 一二一、六九〇、六〇三圓三九
準備 [illegible]
保證 [illegible]
鑄幣發行額 一、〇〇九、六三三圓八六

滿洲國商標登記
第一日受付の盛況

商標局では二十日午前九時から國務院內商標局で商標登錄出願の受付を開始したが第一日の受付總數は九千五百五十八件これが出願人數は代理人及直接出願者合して二十九名である因みに前日までに指定された代理人は二十五名である

藏相の態度强硬
政治的折衝に依り
總額二千萬乃至五千萬 復活か

〔東京廿一日發聯通〕明年度豫算の大藏省査定に對する各省の復活要求猛烈で昨日中に書類全部出揃つたが總額實に三億五千萬圓に及ぶ、主計局では本日中に出來る限り事務的折衝を終へて再査定案を作成し、廿二日大藏豫算省議に付し高橋藏相の裁斷を經るが高橋藏相は

一、大藏省案は陸海軍費を眼目に置きそれ以外は財政計畫を破壞せざる樣徹底的に削減し國防と財政の調和を圖つた
一、陸海軍費は工業能力と經費の單價を考慮して居り之以上の承認は不可能である

とし强硬反對故結局政治的解決に依り二千萬乃至五千萬圓程度の復活を容認するのではないかと觀られる

鐵路總局招聘の社員
六百名十二月中に着任

〔大連廿一日發國通〕鐵道省其他より鐵路總局に招聘する社員採用の爲め上京中の總局次長伊澤氏は鐵道建設局佐藤局長等と同道二十一日「うらる」丸で歸連したが語る

工場、技術、自動車の三系統に約六百名の採用を決定して來た、技術者は目下內地の軍需工業の勃興の爲め優遇されてゐるので良い人を多く揃へる事は困難であつた、採用者は十二月中には大連經由着任するであらう

電報料金は現狀の儘進む
滿洲電々山內總裁談

〔大連二十一日發國通〕滿洲電信電話會社總裁山內靜夫氏は全滿に亘る會社の新施設工事及び右に要する概略豫算並に明年度の概算豫算等につき中央と打合せの爲上京中であつたが、二十一日入港のうらる丸にて同社營業部長絹田氏同伴歸任したが氏は船中語る

料金問題については拓務、陸軍、遞信三當局と懇談、滿洲の實情を說明し善後策を協議したが大體電報料金は現狀維持で進むことに意見一致した、新料金を引下げて舊料金に直すことは會社の採算上不可能なことは內地商工業者もよく諒解して異れたが會社の新施設は全滿一圓の通信網擴大と施設の改善であら

兼井鴻臣氏 講演放送

金福鐵道支配人兼井鴻臣氏は明二十三日午後九時新京放送局から「人物觀察方法と應對に就ての檢討」の題下に講演放送をなす

四平街
朝鮮人の人口及び戶數

四平街朝鮮人民會調査に依る十一月二十日現在の在四朝鮮人戶數人口は左の通りである

	戶數	人口	男	女	計
市內	一四七戶	七一一人	三八四人	三二七人	七一一人
附屬地鐵道東	三〇戶	一三六人	六五人	七一人	一三六人

拳銃强盜

去る十七日午後十時三十分頃泉頭接壤地南崗子部落(西南方約四〇〇米)居住の農家康警珍方に系統不明の各自拳銃を所持したる六名組の徒步賊が現れ同家の裏壁を打破り侵入せんとしたる物音に氣付いたる主人康は裏手に廻り見たるに五、六名の賊を發見したるに件の賊は矢庭に拳銃を發射しつゝ目的を遂げず西北方に向け逃走、同地派出所員は時ならぬ銃聲を聞付け南崗子駐屯の自警團二十余名を指揮し現場に馳け付け附近一帶を隈なく搜査したるに發見するを得なかつた尙ほ被害者康は腹部に瀕死の貫通銃創を負ひ直に四平街滿鐵醫院入院目下加療中であるが生命危篤である

大同佛敎近く正副會長就任式

世界大同佛敎會四平街分會では近日中正副會長の就任式を行ふ由なるが四平街分會主任李蔭庭の語る處に依ると、右敎會は現在の邪敎を極力排擊し王道主義の眞精神を一般民衆に徹底させ佛敎の本義を誤らせず最大多數人の最大幸福の爲め布敎に專念の意嚮なりと云ふ

けふの天氣西の風晴 きのふの最高零下七度、最低零下十四度一分

最新刊 珪酸塩工業要覽 東京帝大教授工學博士 永井彰一郎氏著
增訂六版 疾病と藥劑處方 藥學士 石尾眞郎氏著
近代の金屬材料 東北帝大教授工學博士 濱住松二郎氏著
訂正第三版 日本探鑛法 理學博士 岩崎重三氏著
增訂再版 金 理學博士 岩崎重三氏著
鑛山の開發と經營 東京帝大講師工學博士 山田復之助氏著
訂正第二版 物理學通論 東北帝大總長理學博士 本多光太郎氏著
最新刊 科學者群像 東京帝大教授理學博士 竹內時男氏著 改稿(十五版)訂正十六版發賣
石鹼製造化學 / 纖維素塗料 / 新兵器化學 毒ガスと煙 西澤勇志智氏著 / 新兵器化學 花火の研究 西澤勇志智氏著 / 化學語彙 日本化學會編 / 化學本論 片山正夫氏著 / 無機化學實驗法詳解 / 無機化學の基礎 永海佐一郎氏著 / 化學理論及計算 / 近世有機化學講義 / 有機化學構造論 山岡望氏著 / 實驗有機合成化學 / 工業物理學 / 物理學詳解講義 本多光太郎氏著 / ベクトルとテンソル / 電子論 三枝彦雄氏著 / 新電子論 / 質點の力學 / 最近に於ける物理學の發展 三枝彦雄氏著 / 植物分類學 第一 裸子植物 早田文藏氏著 / 樹木和名考 白井光太郎氏著 / 日本細胞學史 篠遠喜人氏著 / 細胞學總論 田原正人氏著 / 植物學通論 石川光春氏著
東京日本橋區大傳馬町 內田老鶴圃

滿洲チブスがそろ／＼流行

流感と間違ひ易い

前野滿鐵醫院内科醫長語る

酷寒來さともに流行性感冒がそろ／＼頭をもたげ始めた、これは毎年のことで恰度氣候の變り目の今頃が最も多く、中には一家族全部が襲はれる場合も尠くない。今のところ今年のそれは特に惡性さいふほごではないがそれでも一家次々に罹病して惱まされてゐる例も尠くない

「此際」一般でもこれに罹らぬ用心が肝腎であらうさ滿鐵病院前野内科醫長は左の如く語る

先月頃からぼつ／＼はやりかけたが扁桃腺に來るもの頭痛になるもの氣管をやられるもの、といろ／＼あるやうだが、いま世間で感冒さいつてゐる多くは滿洲熱(滿洲チブスのこと)のやうである、これは發疹チブスの輕い程度のもので、まづ四五日目に全身に發疹する頭痛、おうと、發熱なごチブスの症狀に似通つてゐる

「生命」にかゝはることはなく大抵一週間位になほるのが普通である、なほこれは人から人へ傳染するのでなく鼠から傳染する、それでこれが豫防さしては鼠を退治るよりほかないわけだ、幸ひ滿鐵醫院に發疹チブス研究家さして滿洲に於ける權威たる高橋氏がゐるので新京の鼠にこの病菌を持つてゐるか否かを目下研究中である、感冒の豫防さしては「うがひ」をすること、マスクをかけること、積極的な方法さしてはなるべく外に出て皮膚を

「丈夫」にすることで稀に出るから犯されることになるわけでマスクなごも人中に入る場合にのみ必要だが新鮮な空氣の場所にゆく場合などは却つてよくない

來る二十八日新京商議改選

會頭には果して誰

新京商工會議所議員の任期はいよ／＼十一月末限り終了するので來る廿八日三十名の議員の改選を行ふことに決定したが十一月一日現在に於ける會員數は九十五名、その後の申込會員を合して九十九名さ云ふ貧弱な商工會議所であるため今回の改選は全然氣乘り薄で、從つて議員の新人も殆ご出馬せぬだらうの觀測が行はれ、只歳置が原口氏が退いて常務理事の高橋氏が代つて出馬し、新しく會員となつた東拓支店が渡邊氏を出馬させるだらうさ觀られてゐる、外は新人の出馬はないものさ觀られてゐる尚議員改選後選擧する會頭については現副會頭石崎氏が最も有力視され、氏の外に隆泰公司の島名氏や木材商組合の彼末氏が候補者に擬せられてゐるが、島名氏は病氣のため出でず彼末氏小諸種の論あり一部には石崎氏の會頭當選が、十中八九迄確實なりさの觀測が行はれてゐるさまれ國都新京の商工會議所が會員僅かに九十九名、總予算一萬七千圓では今回の改選も大した波亂なく行はれるであらう

雪かき（南廣場にて）

防寒靴泥棒逮捕

奉天省生れ住所不定蕭省(二二)は二十一日午後一時三十分ごろ日本橋通金泰洋行で防寒靴三足十九圓八十錢を竊取逃走中を新京署員に發見逮捕された

簡易宿泊所

今月末移轉

滿鐵經營新京簡易宿泊所は從來高砂町六丁目六番地の最も不便な場所にあつたが今月末までに日本橋通り新京百貨店前東公園内細菌檢査所跡に移ることゝなつた、最近この寒さでこれが利用者もめき／＼殖え昨今では一日四五十名位づゝの使用者があるが向寒さゝもに市の眞中に移轉すれば益々利用されるものと期待されてゐる

滿洲國の特産に就て

(四)

實業部總務司長　高橋康順

大同二年(昭和八年)(大同元年十月より大同二年九月迄)の海外供給高を見まするに次の如くであります(豆粕は原料さして換算)

日本一〇九萬トン(大豆四〇萬トン 豆粕六九)
歐洲一七六(大豆一六九 豆粕七)
支那一八(大豆一〇 豆粕八)
南洋三(大豆三 豆粕〇)
米國三萬トン(大豆〇 豆粕三)
合計[illegible](大豆[illegible] 豆粕[illegible])

さなり更に大同元年度(昭和七年度)に於ける輸出を見るに

日本一四三萬トン　歐洲一六七同　支那九一同　南洋七同　米國一同　合計四一四同

さなり次に兩年を比較すれば

日本三四萬トン減　歐洲八同増　支那六二同減　南洋一同減　米國一弱萬噸減　差引八九減

さなる

只今述べました如く總輸出額の三割三分は日本に向ひ歐洲向は五割八分にて其の大部分を占め支那に對しては四分南洋に對しては三分さなります又世上に傳へられて居ります歐洲不買の危惧は反つて數字上は前年度よりも若干の増加を示し獨逸政府の强硬なる政策を以てしても後に述べます如く獨逸に採つて大豆は必需品なのでありますが日本に對し三十四萬噸の減少及支那に對する六十二萬噸の大激減は誠に憂慮に價する問題であります、日本に對する減少は日本内地の畜産奬勵による増收及化學肥料の壓迫による豆粕の需要減少が其の主なる原因であり殊に最近二、三年の農村の疲弊が大ひに影響して居るので有ますが豆粕の輸出は昭和元年以來の最少レコードでありました、豆粕の飼料さしての研究が進み又農村疲弊の回復さ共に舊來の如き需要の回復を我が滿洲國は切望致して居ります

對支那の減少は滿洲國產物及大連港積出品に對するボイコツト的高率課税さ長江筋の住民の疲弊により購買力の減退が其の主原因であるさ思はれます、殊に今年は長江地方の豆作は豐作さ傳へられて居りますから急激な回復は望まれませんが支那が對滿政策を改善し一層の親善が得らるるならば漸次この減少は回復されることでせう

ラジオ講座

受講者は早く

電氣協會主催、滿電及放送局後援を以て來る二十日より三日間、新京高女に於て現代人が知つて置かねばならぬラヂオ知識につき平易有益のラヂオ講座を開催するは既報の通りで最も時宜の催しさして早くも滿電營業係には申込殺到の有樣で盛會を豫想せられてゐるが、會期三日間毎日午後四時半より同六時半迄の二時間で會費僅に金六十錢であり講師は放送局長加藤誠之氏講義要目左の通りである

△世界のラヂオ界△電波さ其の擴がり方△放送局さ其設備△中繼放送△ラヂオの受信△受信機の取扱ひ方

以上で希望者は滿電に至急申込まれたしさ

滿鐵社員の健康診斷終る

在京滿鐵社員の健康診斷は去る十三日から各機關次々に滿鐵醫院内で行はれてゐたが二十一日全部終了した、昨年の受診者千六百名だつたのが本年は社員の増加によつて二千三百名の多數で、その成績に追つて滿鐵に報告されるはずだが大體において著しい變化はなかつたものさ見られる

抽籤馬の購入を終る

滿洲國馬政局では國立賽馬場賛助員に分配する抽籤馬購入のため安達馬政官以下ハイラル方面に出張中であつたが既に購入を終りハルビンに五十頭を交付し、四十九頭を新京に輸送し二十一日到着したが新京で積換へ奉天に輸送し同地賛助員に分配することになつた、同分配された馬は明春の競馬大會に新抽籤馬さして出場することゝなつてゐるので非常な人氣を呼ぶものさ見られてゐる

大同林業

創立準備整ふ

大同林業公司は在滿同業者の反對運動を他處に着々創立準備を進めつゝあつたが過般實業部の正式許可に接したので十一月廿日吉林二道碼頭(舊共榮起業會社跡)に創立事務所を設置した

新券番の花代步合決る

市内永樂町一丁目に開業された、料理店は既報の如く券番制度を實施するが同步合は花代一本四十錢内から待合十錢券番費二錢、演武場積立金五厘、藝妓積立金四厘である、遊興客は最初の一時間は送込みが一本即ち四十錢が加るため一時間が二圓さなる

中銀紙幣の僞造犯人逮捕

當局必死の捜査を開始

最近上海在住露人ハラゴリヤ他二名は滿洲中央銀行紙幣の僞造を企し既に〇萬圓を僞造し山海關、營口經由滿洲國に搬入し一部は秘密裡に一枚四圓で賣捌いたさの情報に接した日滿當局は嚴重なる捜査網を張り目下一味を捕縛すべく手配中であるが犯人の一人ワシリコフはハルビン居住不良露人の首魁で數日中に逮捕の見込であるさ、尚一味の背後には中國排日團體の魔手が潛んで居るさ觀られて居る

大岩氏赴任

新聞聯合通信社新京通信部の大岩和嘉雄氏は今回大連に榮轉廿一日午後四時半關係新聞人多數の見送りを受けて離京した

若槻氏襲擊犯人は拳闘界の猛者野口進

背後關係は目下取調中

(東京二十一日發國通)若槻總裁を襲つた兇漢の野口進(二七)は拳闘界では有名なウエルター級選手で兵庫縣御影の大日本拳闘會に屬し試合で上京する外は常に御影の拳闘道場に在つたが最近甲子園の試合で肋骨を傷けられ其後上京加療中であつたものだ、リング上の彼は闘志に燃えた獅子武者で豫ねて粗暴の行爲も屢々あり傷害罪で前科を有してゐる男だが、何が彼を若槻總裁襲擊に向はしめたか、その動機並に背後關係に就ては目下のところ取調中である、尚暴漢は他に一名居たが早くも逃走、嚴探中で野口は奉書に認めた勸告狀を所持して居た

判明した

若槻男襲擊經緯

(東京廿一日發國通)取調の結果野口は十月八日日比谷公會堂の拳闘大會の爲神戶市外御影町の嘉納健二方から上京滯在中、本月六日濱口首相暗殺の佐鄕屋の

「公判」の決定日に大審院で傍聽した際、豫て知合ひの松井治雄さ出會ひ佐鄕屋が死刑になるのもロンドン條約失敗の結果だ、若槻男は切腹して罪を謝すべきであるさ同男に切腹勸告する事になり松井さその後數回に亘つて相談、本月十九日頃愈よ決行する事に決し、新聞で若槻男が北陸遊說から二十一日午前七時上野に歸京する事を知つて上野驛に同男を迎へて勸告文をつきつける事になつた、之に先立ち十九日頃野口が奉書に勸告文を書き短刀二本を買ひ求め之を以て二十日夜松井の寄宿先で手筈を相談、二十一日午前六時再び松井のところを野口が訪れ兩名徒步で上野驛に六時四十五分頃到着、改札口で待ちうけてゐるさ若槻男が列車から降りて改札口に差しかゝつて來たので、野口は勸告書さ短刀さを持つて飛び出したが約二間のところ迄迫つたところを警官に逮捕されたものである、之を見た松井は直ちに表に飛び出し自動車に乘つて若槻男を追跡、若槻邸の門前附近に到つた時既に若槻男は自動車を降り玄關敷臺に片足をかけたところなので

「松井」は血相變へて自動車から飛降りたところを警戒の巡查が取押へたものである

懷中せる

勸告文内容

(東京廿一日發國通)若槻總裁襲擊犯人野口進が持つてゐた勸告文の内容を大約するさ佐鄕屋の死刑になつたのもロンドン條約の失敗の結果からで罪は若槻男に在り宜敷く割腹して罪を天下に謝すべしさいふのである

野口松井は

愛國青年聯盟員

(東京廿一日發國通)若槻總裁襲擊犯人野口進、松井治雄の兩名は共に愛國青年聯盟に加盟してゐる者で、同聯盟は五、一五事件海軍側辯護人林逸郎氏が主宰してゐるものである

若槻總裁

心境を語る

(熱海廿一日發國通)上野驛で危ふく災厄を免がれた若槻總裁は二十一日午前九時五分東京驛發列車で伊東の別莊に赴いたが途中熱海驛で下車し總裁は左の如く語つた

何處に居ても殺されるものなら殺されるのであるから常に充分覺悟はしてゐる、まあ助かつてもよし助からなくてもよしさ言ふ心境です

さ述べ、種々噂のある折柄相當の覺悟はしてゐたらしく頗る平然たるものであつた

松井治雄も

捕へらる

(東京廿一日發國通)その場を逃れた他の一名の共犯者は直ちに本鄕大和村の若槻邸に至り目的を果さんさしたが、同人之又玄關前で逮捕された、同人は松井治雄さいひこの十月除隊した許りの男で日頃愛國團の岩田愛之助氏を崇拜し同人宅へ出入してゐたものである

五、一五民間側公判

卅日論告求刑

(東京廿一日發國通)五・一五事件民間側全被告の審理は本日で總て終了したので三十日午前九時開廷の公判で檢事の論告求刑が行はれる事さなつた

室町校長代理

挨拶に來社

新京室町尋常高等小學校次席長野仟棟氏は上原校長の代理さして二十一日、先頃催された同校二十五周年記念事業が無事盛大に納終したに就き謝禮挨拶に來社した

居住消息

▲下常豐二氏(鹿兒島縣人滿鐵社員)讃月町一丁目二號ノ一へ
▲小玉吞魚氏(東京人易者)老松町十四番地へ
▲大瀧順弘氏(熊本縣人滿國官吏)羽衣町一丁目六番地へ
▲中山深心氏(熊本縣人)吉野町二丁目十二番地へ
▲鈴木敏四郎氏(宮城縣人滿國官吏)大和通り六十六號へ
▲犬童達哉氏(鹿兒島縣人社員)羽衣町一丁目二百二十八番地へ
▲簑入隆雄氏(北海道人瓦斯會社員)大連から敷島通り瓦斯會社代用社宅へ
▲佐藤紀治氏(福島縣人同上)同上
▲大石義雄氏(福岡縣人)マニラから祝町二丁目九番地へ
▲江渡清一氏公宅街から花園町二丁目二十二號ノ四へ
▲大津繁德氏(福岡縣人滿鐵社員)花園町三丁目三十四號ノ四へ
▲寺田庄藏氏(滋賀縣人滿鐵社員)大連から花園町二丁目一番地十三號ノ四へ

▲花園町三丁目四十三番ノ三中野新太郎氏の孫明陽さん二十日午後一時死亡

質
大口・幸上相談
質出大勉強
流質品安賣
益豊質店
電話2777

轉移落成新築
業務擴張開院
トラホーム根治療法
眼科整形外科
眼鏡檢定
驅黴療法
其他眼科一般
意隨院入
診療時間
▲午前七時ヨリ
▲午後六時マデ
日曜祭日ハ午前中
急者ハ此ノ限ニ非ズ
知識眼科醫院
醫學士 知識吉彥
移轉先 新京大和通り六六番地 金光教々會所前

陶器類
京都から淸水燒の高尙な食器を直接配布する滿陶會が參りました……!!
――の高價な新京へ
一、優美な揃模樣にて會席用各食器を毎月一組(五客分)宛配布致します
一、會費は此品がと思召す位廉價です代金は毎月品物引換に戴くことにして居ります
型錄・現品見本は御通知次第持參御伺ひ致します
御入會の好機
宣傳中一引割
京中央通郵便局前 滿鮮ビル二階
千勝洋行內
電話三四〇五呼出

美容
洋髪 美顏術 美爪術 化粧 着付 一般
大和化粧院
大和通四九(三浦洋行二階)
マリールウヰズ化粧院出身 河野光江

程の引立御度毎
御禮申上ます
毛皮類の製品が充滿して居ります
編物の御婦人服は弊店獨得の型で大評判です
裁縫部は期日確實で老練の職工が澤山居ります
他に其の類を見ざる高級の毛皮があります
ボックス皮の洋服は即座に大量品が揃ひます
どうぞ大利公司を御利用願ひます
毛皮 敷 男女既製服 洋品雜貨 裁縫部
新京日本橋通二九
大利公司

スケートのお薦めと注意 (D)

新京地方事務所 高橋忠

一、服裝

衣服の選擇も亦スケート術の便宜と滑走者の外觀といふ點に於て重要な事であります。これ迄の幾多の競技會に於て競技者が下の開いた長い衣服を着て滑走を行つた事が一般觀覽者に其の外觀上非常に見苦しいとの感を抱かしめた事に照して特に長い衣服は避くべきであります。スケーターの衣服は其の氣候に應じて之を選擇すべきは勿論でありますが非常に暖かい衣服類例へば綿入や毛皮裏附のヂャケツ等は避くべきであります

×

競技中の劇しい發汗は恐ろしい感冒の原因となる事多く且つ氣持の惡いものであります スケート用衣服の條件としては滑走者の外見を見苦しからず且つ運動を妨けぬものを選ぶ事が第一であります

×

衣服についてはスケートの競技種目により便不便がありますが初心者の方の衣服としては特別なることを要しません 平常着の洋服ズボンに毛糸のヂャケツの程度で結構です余り厚着は禁物であります(服裝のことは各自自由の衣服で結構ですから詳しいことは省略いたしますが御不明の點がありました時は御問合せ下さい)

×

初心者に必要な基礎運動、靴にぴつたりと螺はたスケート滑走に適當した服裝が改まつたらばそれで愈よ氷上の人となるのでありますがスケートは机の上や疊の上では容易のやうでありますが實際氷の上てばなか〱思ふやうに自由がきゝませんから初心者の方は適當な經驗者に就いて指導を受けるやうに御薦めいたします指導者についた人とつかぬ人とを比べて見ますと既に數日にして著しい進歩の違を來すものでありますから場内の係員について指導を受けるやう御改め下さいことに初心者の方は種々本や雜誌でスケートの滑り方を研究されますが實際氷の上に立つと決して文字通りには自由が合ひませんからこゝに文字を以て要領を書き述べても無益と思ひますが極く簡單な要次のみ參考までに書いて見ますと先づ一に心掛けねばならないことはスケートが氷と殆んど垂直になる樣に足を伸し(腰から上部は前方に曲けて決して腰を伸し身体を捧のやうにすることは倒んだ時に頭部を打つ危險がありますから決して体を伸してはなりません)且つスケートの内及よりも外及の方に多く凭れる樣にする、内及に凭れることは初學者は絕對に避くべきであります内及に凭れる癖がつくと後に至つて外及で滑る所謂アウトカーブが中々習得出來ないといふ結果を生ずるのであります

×

次に前進力を起すにはスケートの前部内及を以て滑出す足の後で氷に蹴りを與へる即ち内及で氷を推す樣にして蹴るのであります此場合決してスケートの爪先や踵の方を出して蹴りを與へてはならない勿論最初は其の蹴りの後直ちに片足で滑走することは困難なので最初は蹴りを與へた足を素早く滑つた方の足に並行して氷上に置き兩足を以て滑走する、此際注意すべきは兩足を交互に用ひて蹴りをなすことと兩足の距離を等しく滑走すべきことであります又兩足で滑つてゐる際に身体を右に曲けると右方に方向が曲り左方に曲けると左方に方向が變りかくして兩足滑走方向轉換が出來る樣になつたら次は滑中に凡ての重心を片走に集める練習であります(然し必ず左右の足を交互に用ふることであります)

廣告と圖案の話 (七)

鳳三堂主人

内地などの都會を中心にしたものでは恐らく純ポスターで無くてはなりませんがこの滿洲の地に在つては殊に滿人本位に立脚したものは遺感ながら後者を撰定することが有效です。これを痛感させられた生きた實例は、嘗て今夏關東廳で募集した交通安全事故防止のポスターです。一等に當籤した圖案は純現代的のもので一見東京や大阪邊りで出來る炊事手袋の宣傳ポスターの感を與へますがとも角傑作です二等に當籤の分は弟子が余暇に圖案して見ろと云ふので私が暗示を與へて本人の自由に任せて出來たものです その後一二等共印刷されて全滿へ配布されたもので到る所に二枚揃へて張り出されてありました、當時日本橋際の派出所の掲示版にあるものを滿人七八名かさなり合つて見てゐました、優れた一等當籤の方は全然見ず全部の人々があの町角で自動車の前で子供が倒れ人々が狼狽する樣を上で吃驚した男女の子供の顔を大きく描いた所謂說明樣式ポスターを何や彼やと話し合つて見てゐるのに今更ながら驚きました

現代ポスター圖案の途を進んで來た今日あと戻りをしてゐるやうで一種の淋しさを感じました、けれど同じ說明的ビラ式ポスターにしても野卑に流れず追々向上させ階級を問はず大衆に理解され受けられるやうにすることが何よりも肝要なことと思ひます 意匠圖案の立案を初めから專門家に依頼される場合相互によく理解し合ふことが先づ第一要件で、廣告主は自己の理想計畫豫算好み等を語り出來得れば大体の圖柄なども示すとか必要な參考ものを提供することを忘れぬやうにして只漫然と依頼することは最も禁物です。も一つの必要條件は考案執筆に對する圖案家への時間の余裕を充分に與へることです。最後に意匠圖案を各自理想通りに考案から圖柄までものされる方々でも其の出來上つた圖案に對し自己滿足に浸らず勉めて專門の人々に意見を求めるに吝でないやうに御薦めいたします(完)

秋から冬の 指環と腕時計 森洋行 新京中央通四八 電話三八七三番 一輪ノ組合加盟店

右太プロで女優さん大募集

右太プロでは三四年度陽春をかけて、大作主義を以つて進み、他トーキー製作にも、積極的な方針を樹立して大飛躍をなすべくそれに郷ふ各部に亙る人員補充につき種々協議の結果、第一着手として俳優部の大增員を行ふことになり女優研究生を左記要綱で募集することになつた

◉募集要綱…△女優及び女優研究生△締切、十二月中△試驗方法、寫眞及び履歴書に依つて豫選を行ひ豫選通過者を召集 △申込場所、奈良市外あやめ池、市川右太衛門プロダクシヨン人事部宛 △應募者の履歴書及び寫眞は返却せず

◎應募資格…△高等小學校卒業程度のもの △年齡十五才より二十三才まで △父兄の承諾あるもの △身体強健なもの △映畫スターとしての素質と自信のあるもの

大同學院で白系露人が舞踏會を開催

在京白系露人が寬城子に小學校設立基金募集の爲め二十一日午後六時より大同學院に於て舞踏會を開催することゝなつた

ラヂオ欄

二十二日(水曜日)新京

午前十一時〇五分講演 滿洲の氣象觀測事業に就て 中央氣象台長 後藤一郎
午後五時〇分子供の時間 講話作完全人的三要案(滿語) 新京特別市立第四小學校長 任冠了
同 五時三〇分ニュース(英語)
同 五時四〇分ニュース(露語)
同 五時五〇分ニュース(鮮語)
同 六時〇分ニュース(東京より)
同 六時二〇分語學講座(滿語)講師 高宮盛逸
同 六時四〇分語學講座(日語)講師 植松金枝
同 七時〇分演藝(滿語)
同 七時三〇分講演(滿語) 新興家の發展 當從模範村 倣耙 協和會中央事務局
同 八時〇分ニュース氣象豫報番組豫告(滿語)
同 八時三〇分時報(東京より)
同 八時三一分ニュース(東京より)
同 八時四九分ニュース氣象豫報明日のプログラム豫告
同 九時〇分演藝(滿語) 新京截完より中繼

鮮魚相場

品名	値	品名	値
活鯛	一二五	氷鯛	六〇
チヌ鯛	三二	アマ鯛	三五
小鯛	六〇	鯆切	一〇〇
ヒラス	一七	ニベ	二一
ブリ切	四〇		
サハラ	四〇	スミキ	二二
サバ	一六	アジ	一七
カレイ	八	ヒラメ	一八
ボラ	一六	コチ	一三
コノシロ	五	キス	二〇
赤貝	四	マナカツ	六五
タチ	一二	ハゲ	二二
サヨリ	四五	ハモ	一〇
ホーボ	一八	クジラ	四〇
赤エ切	八	タコ	一六
イヒタコ	一六	甲イカ	三〇
イセエビ	三〇	車エビ	四九
カニ	二〇	アナゴ	一六
貝柱	二六	ナマコ	二〇
アワビ	七二	カキ	二五
ハマグリ	一五	シジシ	八
カマボコ	三三	バレン切	三〇
星カレ	二三	小イカ	五
サケ	二〇	ホタテ貝	六〇
エソ	五		

新刊紹介

△實業公論(十一月號)卷頭言に結論より實行へ、聯盟と獨逸の脫退外七件中村杏堂、皇國日本の顯現を圖り國防充實に邁進せん荒木貞夫、一九三六年、六年危機に備へ第二次補充計畫は不可避大角海相、對米露支政策確立が急務廣田外相、財政發展ABC、財界ニュース海外政治經濟情報、財界第一線に躍る巨頭松方、岡崎、池田、各務、井阪、矢野、藤原、宮島、鮎川、中村等々、會社の内容批判等一部金三十錢、發行所東京芝公園實業公論社

新京隨筆 (五)

金福鐵道會社 支配人 兼井鴻臣

女は口でこそ心でこそ、泣いてくれる歎いてくれる同情してくれる、然し結局は小田の蛙である、其處へ行くと我星野米藏君は筆でこそ名刺でこそ、泣いてイヤ冗談を走らすが腹は中々大きいのである、星野米藏君を女房役として居る大村卓一さんは誠に幸福である。星野君の八面六臂は其理由があるそれは飛行士であつたことゝ、チャーナリストであつたことゝが誠に君を大きくしたのであらう、飛行士で命を捨てゝも已を得ぬと云ふ大きな腹を作り、チャーナリストであの大きな〱お目めを更に光らせて直視人心は勿論のこと、眼光紙背處か机の下迄も地下迄も通する樣になつた、それが手八丁口八丁の所以だ、それを私に手口十六丁と書いたのは或は私が何れかに偏して居るのを諷刺したのかも知れぬ、明日は新京に行くから質問して御垂教を仰ぐつもりだ、星野君は黄疸の兆ありと折々口にして居たが其には悲觀しては居らなくて朗かであつた好漢幸に健在なれ!!此間の樣に御馳走に有り付けないから呵々

▽……………△

十一月廿日の早朝十三列車にて村上、十河兩滿鐵理事、□關東軍參謀、大川平三郎氏の息大川義雄氏、滿蒙毛織常務推名義雄氏、滿洲中央銀行理事五十嵐保司氏、大連妙心寺開山圓山太嶺禪師などと同車して打興じ乍ら當新京に着し直ちにヤマトホテルに投じた

而して今朝の本紙を見れば、宇垣朝鮮總督が總督を辭して上京し松岡洋右氏を話相手として、愈よ政界に乘出すが如く報じて居るのを見た、私は本月三日即ち總て我等の尊崇し奉る明治大帝の明治節に總督官邸に於て、金福鐵道の延長線即ち大連と安東縣とを結ぶ鐵道敷設に對する件に就て、所見を開陳し種々示唆を受けた後人物評其他各方面の問題に就ての御話を申上げて御意見も伺つたし、其間官邸庭園と玄關の二個所で、二人にて記念撮影をなしたのであるが、其間透觀し得たる所に依れば恐らく本日の情報は單なる臆測に過ぎぬものと私は深く信じて疑はないものである、併し近く上京さるゝことは事實らしい

今の世の人は徒に精神力を否定し頭腦を尖鋭化して物の眞相を把握することに汲々として、却て眞相を逸する嫌が無いでもない樣に今私の胸間を往來するものが有つてならない 今や米蘇兩國は、ルーズヴェルト大統領とリトヴィノフの兩氏の手に依て、米蘇兩國々交回復に關する協定に調印を終りて、米國は初代駐蘇大使にウイリアム・ブリット氏を任命した 一九三六年の日本の大峠を控へて國民の一大決心を要するの秋、徒に神經を尖がらして許り居るべきではない宜しく腹を作りて、固より腹へ通じ更に慾を言へば禪宗で言ふ所の躍を通じ何事も處斷すべきではあるまいか

宇垣總督から去十八日附にて左の御書面に接した

拜啓 過日は折角の御來臨に失禮申上候 七日出の芳信難有拜見仕候 貴著目下拜讀中に御座候 一寸御返事迄
十一月十日 一成
兼井鴻臣樣

又血盟の親友、第二十師團司令部部附、陸軍步兵大佐、金子定一兄より左の如き宇垣總督に關し十一月八日の總督官邸晩餐會御獻立書に認めた左の尊信に接した

…貴方の魂を清め高める!

婦人公論 十二月号 日本発売

★結婚の夢破れたり 古賀政男
「酒は涙か溜息か」「丘を越えて」等々によつて一世を風靡し、その天才を謳はれた作曲家・古賀政男氏は夢まどらかなる筈の家庭を何故破滅されたか? 心身の傷みを郷里に養つてゐられる氏の病褥をおして書かれたこの一文を見よ!

▽女性よ常に愛情とともに…山田わか
蘇峯小話 變化は不成功のもと 繰り返す力の偉大 極ある人となれ…德富猪一郎

強ひられた結婚
身に纏ふ絹布たる衣裳に較べて、何と氷塊の如く冷く寂しい彼女の心だらう。青春の憧れも希望も、財力の牢獄に蹂みにじられて嫁ぎ行く乙女の、血涙を以て綴れるこの一文を貴女の手に贈る。
▽買はれた花嫁…[illegible]
▽生れかはる日もあらば…鶴谷みち子

貴女の美容のために
荒れ止化粧法 クリームの知識と…田中雅子
額形に合せた眉・もみあげ 居形の作り方 グラビヤ
ひび、あかぎれ、しもやけの豫防法と手當…柳村マサヂ
シヨールに適はしい髪
誌上 一流美容術家競演
近代生活に適はしい炊房具 グラビヤ
初冬麗人心得帖

冬季を利用した結核闘病法 醫學博士 糸川欽也

知識の頁
五相會議の重點…[illegible]田次郎
どうして借家問題を解決すべきか…片山哲
インフレーションは何處へ行つたか…小汀利得
常識の世界情勢…清澤洌
内外時評 新らしき外交か 勝見夫人の人氣…山川菊枝
外國文學講座 ロ大小說家バルザック…山内義雄
人は人ゆえ(詩)…室生犀星
逝く歳(歌)…四賀光子
女流作家になるまで…忘れな草
婦人公論談話室 「私と馬」…橋本關雪 「妻君」孃さん…石本靜枝

趣味のモダン住宅 特輯畫報
◆我家で評判の寒さ時のお料理…田邊操・瀬田濃子・宮澤ひさの・小倉晴子
▽大根のお惣菜料理…小野賢一郎
▽臺所經濟の話…小汀利得
結婚と遺傳…古屋芳雄
斷種法とはどんな法律か…加用信憲
テーブル・スピーチのコツ…守屋東
面白くてためになる 新しい「二大二重懸賞」募集

身上相談 千一夜 出席者 今井邦子 林芙美子 高田保 小島政二郎 廣津和郎
これらの物語はたゞ一人の通りたる人生行路にあらず、過去に於て、また未來に於て、幾百となく幾千となき人々の苦しみ來り、惱み行く「女の一生の斷片」なり。他人の噂をたづぬるは又自れが道を求むるのよすがたり。これ人生案内の良書なり

カフェーから「女給君代」は斯く叫ぶ…加能作次郎
曾て本誌に連載中、問題の小說として評判の高かつた廣津和郎氏の小說「女給」の女主人公君代さんはネオンの下の現實に如何に人生を觀、また感じたか? 男性の獸性を描いて余す處なし。

▼心の手をつないで…山縣直代
新型オーバー・コートの作り方二種 浮きぼり刺繍のシークなオーバー・コート…山脇敏子 流行のアストラカンを用ひた温いオーバー・コート…杉野芳子
可愛い毛糸の赤ちゃん着一組の編み方…井内ちよ子
温くて輕い下着一揃の作り方…溝部百合子
お正月用の流行訪問着案内
ファンに捧げる言葉 私の欲しいもの…三浦時子 明るくそして朗らかに…[illegible]ひばり
博士夫人を捨てゝピアノに生きる私…大築尚子

好評連載長篇小說
黄昏の薔薇…德田秋聲
美貌の果…[illegible]
善縁悪縁…長與善郎
お千代傘…吉川英治
女優…北村小松
憎しみの坩堝…藤澤桓夫

◇愛し得ぬ惱みの心理解剖…杉田直樹
◇秋深む神戸港(附・關西新婚旅行案内)
◇樂しいクリスマス晩餐の獻立…東佐譽子
□赤ちゃんに風邪をひかせぬ法…竹内薫兵
□虚弱兒童と紫外線療法 醫學博士 本社レントゲン科長 唐澤杉三
□「ラグーザお玉自叙傳」序言…木村毅
チョンマゲ時代に日本を去つて、イタリーのシシリー島で、南歐のコバルト色の空の下に世を送つてみたお玉さんは、秋の紅葉に魁けてあこがれの故國へ歸つて來た。今、木村氏の筆をかりて日本の女性に呼びかけてゐます!

眼 耳 口より觀たる 科學的運命判斷法 小西久遠
來年の貴女の運勢は?

特選実話五篇とその批判 愛し得ぬ惱み
批判 山田わか 高良富子 竹田菊 木村松代 河崎なつ

定價 五十錢
發行 東京丸ビル 中央公論社 振替東京二四〇番

變幻黑船往來

鉄轉載上映及上演禁

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百八十二回

破船（四）

艀艇は、破船の舷側をいきほひよく𨻶つて逆巻く荒浪の中へ顚落した。

—あツ？

だんぶくろ水兵たちはおもはず舷側に雪崩れた。自分たちの唯一の逃げ口の斷たれたのを顧みるよりも、左京と千代の安否をたしかめたかつたのだ。

端艇は夕陽をうけて燐のやうにそまつた波に、いつたんは呑まれたが、すぐにその全面容を浮して悠々と荒波を乘り切るのだつた。

中樫櫓の大たぶさのサムライと高髷髪のキモノを着たムスメが、たくさんの水兵を見棄てゝ、破船アレキサンテル號を離れてゆくのがどうにも見逃せなかつた。

『おーい、その舟を返せ……』

だが、いつたん波上へうかんだボートは二度とふたゝび引返すやうなことはない。

血のやうに染られた夕陽の海を怒濤を乘切り、次第にアレキサンテル號を離れてゆく……。

典膳は舌打ちした、彼はふりかへつてお愛をまねいた。

『お愛！』

洋妾お愛は。だんぶくろ水兵たちを恐るゝけしきもなくづかづかと典膳の傍へやつてきた。

『お愛、おのれは死ね！』

『えツ！』

身を退かうとするを隙も與へず典膳は、いきなりお愛の帶のあひだに手を入れて、ぐいと引戻した。

彼等は口々に怒號を續けながら鐵砲の筒先を向けて亂射したが、さいぜんと同樣に、刻々に海に呑まれてゆく破船の甲板にゐては、その動搖のためにうまく標的が定まらず、徒らに空に向つて發砲するに過ぎない。そこで、あるものはいまいましげに洋刀を端艇のふたり目がけて投げつけた。洋刀の刄尖は夕陽に反映して銀蛇のやうに空に躍つて波に消えた。

と、この騷擾この怒號のまだ終らぬとき、甲板へ最後に船室から現はれたものがあつた。

ロマンの典膳と洋妾お愛のふたりだ。

『待てツー』

典膳は、だんぶくろ士官、水兵たちの立騷ぐのを見苦しさうにみて、先づかうさけんだ。

群衆はその聲におどろいて波上のボートに注がれた眼を一齊に背後に向けた。

『待てツ！あのボートに發砲しては相成らぬぞ！』

士官と雜兵どもに命令してからづかづかと舷側の方へ進み、こんどは波上のボートへ向けてさけんだ。

『何をなさる？』

お愛は柳眉を逆立てた。

『冥途の道づれにしてやるのだ』

典膳は左手でお愛を押へたまゝ右手を腰間にのべ洋刀をずらりと拔いた。

動搖めいてゐる士官や水兵たちはこのさまをみて一そう驚いた。

—わア……

おもはずあげる呼喚。

典膳は、ひやゝかにそれに尻眼をくれ、お愛の胸にサーベルを突つけた。

彼は波上にうかむ小舟のふたりを見おろし

『左川、ボートを引戻せい！』

鋭くさけんだ。

破船はいよいよ傾いてゆく。

赤い太陽は水平線の彼方におちて、その劍光が海上をいよいよ□に染てゐた。

家傳 らい病藥

顔うだばれ涙出で斑紋出來手足しびれ水ぶくれ出來る等らい病に特効の家傳藥あり御困りの方は直に御試め下さい委細御照會次第詳報す◎神戸市六番町四丁目二中前

本家 石井佐兵衛

食道樂 千鳥 電二〇二八

滿洲言論界の最大權威

新京 十一月號

亂に居て治を忘れず（卷頭言）……韓慨手
滿鐵の改革果して可能か……滿洲國財政部 源田松三
滿洲國の關稅に就て……稅務司長
進行中の滿洲國經濟建設 關東軍特務部 陸軍一等主計 東福淸次郎
滿洲國商標法釋疑私見 滿洲國商標局囑託 中根齋
大アジア主義の指標……對支關係と對露關係
國防强化と外交工作……滿洲産業と顯政の消幹
忘れられんとする山東問題……星野桂吾
支那の産業四箇年計畫……國民政府實業部長 陳公博
日蘇關係調整の急務……新村龍二
極東蘇領における物資窮乏……一記者
［菱刈將軍の逸話］
建設途上の滿洲國……本社編輯局特輯
晴曇い新京……平松章好 眞劍味、鈍重生……金子白夢
滿洲電影院印象……濱岩敬太郎 カフエー禮讚……江尻義女
寒鴉を釣る男達……灘予公作 支那社會雜抓……風間泉
王道による教育方針……滿洲國文敎部次長 許汝棻
佳木斯移民團を訪ふ（七虎カの卷）……一記者
日本移民の滿洲化問題……農學博士 那須皓
日・滿・漢民族性の相違……東京帝大教授 戸田貞三
超非常時と皇國の使命……文學博士 鹿子木員信
大連市政調査會設立計畫……瀨野秀□
滿洲景氣報告書……本社經濟調査部特輯
外國爲替管理規則に就て……一記者
□滿洲財界寸評
滿洲マラソン行脚……日比野實
第一線勇士慰問記……奉天兵士ホテル 橋本榮□
黑龍江を遡る……在滿海軍部 司令部 板津芳一手記
黎明熱河の斷描……滿洲日報記者 島田一男
草分時代の新京……
□操觚界
大連デパート繁昌記……一記者
大連有閑マダム行狀探訪……西藤水里
兒玉事件の衝擊
理想的成人敎育必要……西内駒路 現今日□は生活態度……木船せつ子
男子にも純節な節操……丁予 女性は矢張家庭本位……渡邊壽枝子
手鍋下げても純情……今西ツネノ 私から觀た兒玉事件……千葉一子
も□とり生存の問題……船津一子
職業輔導部擴充……チチハル邦人十倍增加
ヒミ□□族性……大連宮内の空家五軒
アムール河畔に□□族……興城温泉の繁昌
□□□□□……妙齡□人のミイラ
新京旅館不足緩和……四庫抄書を國寶に
日滿文化□會□□
地圖作製に飛行機
試驗臺上のアナの卵
女子宣傳班の活動
［漫畫かつ］
ダンス界漫談……東貞之
文壇月評……因遠茂
新京の映畫界……金子元甫
キャフエ街巡禮……山□甲
創作 戀愛新時代相……富美鼎
朱筆を擱いて

銘酒 月ヶ瀨

釀造元 森川新京支店

曙町二丁目 電話三八〇八番

印刷機械及材料 各種印刷と製本

卸小賣 北原紙店

電話 三三四一 三四〇一

日滿民刑事訴訟、顧問及鑑定、貸家貸地管理並請書類作成、日滿鮮通譯及飜譯

辯護士 黑田法律事務所

辯護士 黑田實
通譯 韓桂浩

新京ビル二階 電話四九〇五番

國都の魁

近代的嗜好にピツタリ合つた！
嶄新な生地と柄—豊富入荷！

冬服 オーバ の御用命は!!

洋服材料 商 松田洋服店 電話二一四二番

新京三笠町三丁目

超特急調味料

味の素

登錄商標

驚異的效力は瞬時の手間と最少の經費で凡ゆる料理を處理す！

この一罐を常に備へよ！備へなきは文化に遲るゝの誹を受けん

宮内省御用達　味の素本舗　鈴木商店